

特集

筑波大学附属諸学校を巡る（第3回）

目次

- グラビア …… 01 ～ 02
- 特集 筑波大学附属諸学校を巡る（第3回）
筑波大学附属駒場中・高等学校の「いま」 …… 03 ～ 08
- 平成 27 年度 茗溪会賞（大学院修了者）受賞者・活動テーマ …… 09
- 平成 27 年度 茗溪会賞（芸術部門）受賞者・作品名 …… 09
- 「茗溪会に関する有識者懇談の会」開催 …… 10
- 平成 28 年度 茗溪会 公益・共益・広報等 年間行事計画 …… 11
- 毎月第3水曜日は茗溪会館で会いましょう
～発足間もなく1年 茗溪・筑波大学産業人会～ …… 12 ～ 13
- 定時総会開催のご案内 平成 28・29 年度 茗溪会 代議員一覧 …… 14
- 茗溪会 東京都教育研究懇談会（木三会）の報告 …… 15
- 第 15 回顕彰「茗溪会賞」候補者の推薦依頼について …… 16
- 平成 28 年度『茗溪フェロー』ご協力をお願い …… 16
- 平成 28 年度『茗溪フェロー』協力者ご芳名 …… 17
- 茗溪・東西南北 …… 18
- 第 31 回 教職受験対策研修会から …… 19
- 筑波大学はいま …… 20 ■ 茗溪学園だより …… 21
- 桐の葉のつどい …… 22 ■ 追悼録 …… 23 ■ 著書紹介 …… 24
- 広報 …… 25 ■ 表紙のことば …… 25 ■ 編集後記 …… 25

茗溪



春

2016

平成28年

no.1089



日本のバウムクーヘンの歴史は
ユーハイムから始まりました。



まっすぐなおいしさ

日本で初めてバウムクーヘンが焼かれたのは1919年(大正8年)のこと。
創始者カール・ユーハイムの焼きあげたバウムクーヘンへの想いは
今も変わらず、職人から職人に受け継がれています。

ユーハイム®

www.juchheim.co.jp/juchheim
〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-4

お客様係 TEL 0120-860816

受付時間：平日(月～金) 9:30～17:00(年末年始を除く)
携帯電話・PHSからはご利用いただけません。

食の提供 (アウトソーシング)

社員食堂 / 寮・研修所・保養所・研究施設 /
学生食堂 / レジャーレストラン / カフェ

お仕事に、勉強にがんばる皆様を食事面からサポートいたします。
空間づくりなども含めた委託運営を行っています。



学生食堂

～学校ブランドを高める空間づくり～

学生の皆様にとって、大切な思い出の一つになる学生食堂。
学校それぞれの教育方針に沿って運営を行いながらも、
学生層に合わせ、トレンドを意識したメニューをご用意。
カジュアルさとおいしさで好評をいただいています。
また、売店の運営やスクールバスの運行など、トータルでの
サポートも可能です。

寮・研修所・保養所・研究施設

～やすらぎと栄養バランスを考えた食事提供～

各施設の運営方針やご利用者の年齢層に応じたメニューを
提供。栄養バランスを考慮した食事を提供するだけでなく、
研修施設では研修期間や日程などの利用状況に対応した運営を
心がけ、「食」を通じて家庭に在るような安らぎを提供すること
を目指しています。食事以外にも、施設管理全般にわたる管理
業務もを行っています。



はぐくむ、大切なことのすべて

SHIDAX

シダックスフードサービス株式会社

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-12-13 渋谷シダックスビル3F
TEL.03-5784-8831 (代表) FAX.03-5784-8832

KAIT

力と自信がつく教育で
「考え、行動する人材」を育成します。

■工学部

機械工学科(航空宇宙学専攻含む)
電気電子情報工学科
応用化学科
臨床工学科

■創造工学部

自動車システム開発工学科
ロボット・メカトロニクス学科
ホームエレクトロニクス開発学科

■応用バイオ科学部

応用バイオ科学科
栄養生命科学科[管理栄養士養成課程]

■情報学部

情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科

■看護学部

看護学科

理事長 中部 謙一郎

理 事 河野 隆二(S47農)

顧 問 清水 進一(S43理 数) (神奈川茗溪会 会長)

監査室 矢野 正人(S53院修 農) (同 事務局長)



神奈川工科大学

KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:http://www.kait.jp/



講師 大畑多津雄氏



講師 谷島昭氏

第31回教職受験対策研修会

平成28年
3月7日
～9日



合格した先輩達の
「集団討論」のデモンストレーション
参加した学生たち



平成27年度 茗溪会賞 芸術部門受賞者



Emi

黒田 舞さん
(特別カリキュラム版画)



Natsuki I / Natsuki II

推薦者 田島 直樹先生
(美学・芸術諸学)



亀崎 玲奈さん
(情報デザイン領域)

推薦者 内山 俊朗先生
(ヒューマンインターフェース・
インタラクション)

振り子時計



風景のメモ

福山 菜穂子さん
(クラフト領域)

推薦者 齋藤 敏寿先生
(文化人類学・民俗学、芸術一般)

筑波大学附属諸学校を巡る(第3回)

筑波大学附属駒場中・高等学校



稲作実習：ケルネル田圃での田植え



水田の碑(旧農学部)



音楽祭：クラス対抗合唱コンクール(6月)



体育祭：
伝統的な競技『駅伝』(9月)



正門：文化祭で装飾(11月)



文化祭：
ステージのフィナーレ(11月)



筑駒アカデミア：
化学部の実験講座



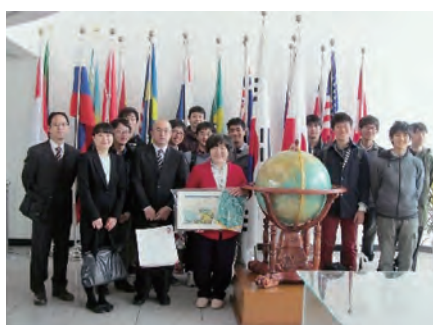
筑波大学研究室訪問(中3・高2)



東京地域研究発表会(中2)



黒姫高原共同生活
(附属学校群企画)



大韓民国釜山国際高校での
文化交流



台湾台中第一高級中学での
生徒研究発表会

筑波大学附属駒場中・高等学校の「いま」

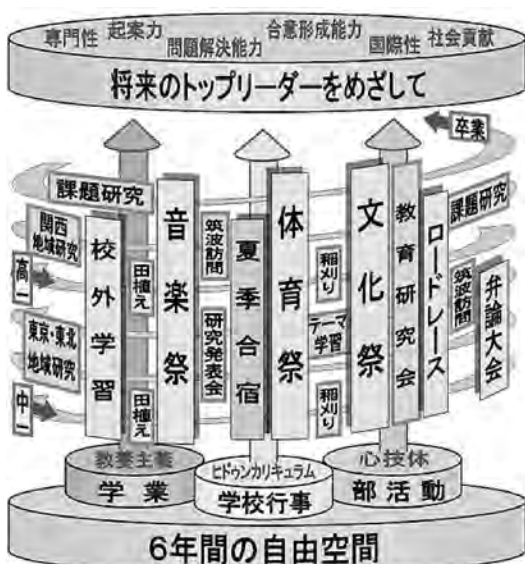
本校は、戦後間もない昭和二十二年に東京農業教育専門学校の附属として東京都世田谷区の地に開校しました。その後、昭和二十四年に東京教育大学の附属、昭和五十三年に現在の筑波大学の附属となりました。愛称も「農教（ノウキョウ）」「教駒（キョウコマ）」「筑駒（ツクコマ）」と変化し、現在に至ります。創立以来、稲作実習のある国立大学附属唯一の男子校で、中学校は「学年三学級、高等学校は「学年四学級です。中学生は全員が連絡進学可能で、高等学校からは新たに約四十名が入学します。

1 学校目標と教育方針

◆自由闊達な校風のもと
「挑戦」し、「創造」し、「貢献」する生き方をめざす



「挑戦」とは、既成の価値観にとらわれがちな自分自身に立ち向かって、新しい世界を切り開こうとする精神面での姿勢です。「創造」とは、柔軟にのびのびとすべてに意欲的に取り組もうとする行動面での姿勢です。「貢献」とは、自らに挑戦したものを、社会に役立てることを表しています。



本校の教育活動を示すポンチ絵

◆教育方針

本校の教育活動における方針は、「学業」「学校行事」「部活動」の三つの教育機能を充実させ、学校という場ですべての全面的な人格形成を促し、発展させていくところにあります。それを一枚の絵に表したのが左の図です。学業では全人教育の立場から教養主義を貫き、幅広い視野の育成に取り組んでいます。同時に、豊かな個性を伸ばした「専門性」や「国際性」の涵養にも努めています。学校行事や部活動では異学年での教えあい学びあいを重視し、ミッション達成に向かっての「起案力」、直面する難題に果敢に挑む「問題解決能力」、互いに異なる才能を融合する「合意形成能力」、仲間や周りを大切にする「社会貢献」の精神の育成に努めています。



ケルネル田圃での田植え



稲刈り後の「はさがけ」

◆伝統的な教育の継承／ケルネル田圃での稲作実習

創立以来ずっと守り続けているのは、ケルネル田圃での稲作実習による教育です。近くにある駒場野公園（旧東京教育大学農学部）には、前身である駒場農学校時代に外国人教師ケルネルが近代農学研究の指導を行った由緒ある「ケルネル田圃」があります。

そこでは、総合的な学習の時間として、中学一年と高校一年の生徒が稲作の実習を行っています。一年間かけて、品種の選定から作期の設定、苗床づくり、種まき、田起し、田植え、草取り、稲刈り、脱穀と作業が続きます。この間、土と語り、作物を観察し、一粒の種を何百倍にも増やして食べるところまで行います。また、作物としての稲の観察や作業体験だけに止まらず、生産された米が感謝の気持ちとなり、糧となることも体験させています。収穫したもち米は、三月の卒業式では卒業生に、四月の入学式では新入生に赤飯として配られ、感謝と歓迎の気持ちが継承されています。

2 学校行事

◆人格形成の場・学校文化継承の場

本校では一年を通して学校行事が盛んに行われています。主なものは以下の通りです。

- 【五月】 校外学習・中一～高二の学年単位で実施
- 【六月】 音楽祭・クラス対抗の合唱コンクール
- 【九月】 体育祭・オリンピック形式で二日間実施
- 【十一月】 文化祭・最大の行事で三日間一般公開
- 【二月】 ロードレース・中学4km、高校8km
- 【二月】 弁論大会・中学校だけのクラス対抗

学校には二つのカリキュラムが存在しているといわれています。一つは学業（授業）で、その目標と課程を規定した「明示的なカリキュラム（explicit curriculum）」です。もう一つは学校行事で、活動や人の繋がりなどから学ぶ「潜在的なカリキュラム（hidden curriculum）」です。

学校行事では生徒が様々な課題に直面します。その中には、既製のカリキュラムもシラバスも通用しない多くの難問が潜んでいます。生徒たちは、先輩から受け継いだノウハウに自らのアイデアを加味し、試行錯誤の末に難局を乗り越えます。そして、その過程の中で人格形成に不可欠な多くの能力を学びます。

それでは、「潜在的カリキュラム」としての学校行事とは何か。その特徴と役割（教育的効果）を挙げてみます。

- ① 直面する課題に立ち向かう実践の場
- ② 生徒が企画・運営の主役となる場
- ③ 個性が発揮される場・評価される場
- ④ リーダーとフォロアーの育成の場
- ⑤ 異学年集団での教え合いと学び合いの場
- ⑥ 班・学級・学年・学校という組織での活動を通して、社会の構図を学ぶ場
- ⑦ 人格形成の場かつ学校文化継承の場

◆校外学習・仲間づくりと主体的な探究学習

各学年の学習方面と内容は以下の通りです。

- 【中一】 黒姫高原・三泊四日で登山、野外炊飯等
 - 【中二】 東京地域研究・宿泊なしのフィールドワーク
 - 【中三】 東北地域研究・三泊四日のフィールドワーク
 - 【高一】 菅平高原・三泊四日で登山、スポーツ等
 - 【高二】 関西地域研究・四泊五日のフィールドワーク
- * 高三は学校に残り、半年後の文化祭の予行演習
中一と高一では、大自然の中で共同生活を通して、今後の仲間づくりに主眼を置いています。三学年で実施する地域研究は「総合的な学習の時間」と位置づけられ、各班はテーマを設定して現地での調査を行います。



高1：菅平高原での登山



中1：黒姫高原での野外炊飯



高2：清水寺を訪問



中3：三内丸山遺跡での学習

中3：東北地域研究のテーマと訪問先の一例

テーマ	訪問先
仮設住宅からみるまちづくり	@リアスNPOサポートセンター 新里商店（釜石市復興天神15商店街） 積水ハウス 岩手支店 復興庁岩手復興局
北上川の環境	NPO法人北上川サポート協会 北上川流域河川生態系保全協会 環境生活部環境保全課 国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所
震災前後の比較を主とした食品の流通	花巻農業協同組合 株式会社Aコープ北東北 気仙沼漁業協同組合 気仙沼復興商店街 南町紫市場
大船渡 大津波からの復興	大船渡市役所 農林水産部水産課 綾里漁業協同組合 三陸とれたて市場
南部鉄器とその周辺の地域との関係	及源鋳造株式会社 株式会社 及精鋳造所 盛岡市役所 商工観光部 商工課
平泉関連史跡	柳之御所資料館 平泉町役場世界遺産推進室 毛越寺 岩手大学平泉文化研究センター

事前学習およびフィールドワークで得られた成果は、一学期期末考査後の七月に、ポスター発表やプレゼンテーションソフトを駆使した口頭発表で報告されます。

左の表は、中学三年生が東北地域研究として岩手県を訪れ、フィールドワークで調べたテーマと訪問先の一部を掲載したものです。自然環境、経済、地産産業、そして東日本大震災からの復興と新たな町づくりなど、実に多岐にわたって調査を行っています。調べた内容は、班員との協働作業で報告書にまとめあげ、お世話になった地元の方々にお送りし、再び助言をいただきます。また、生徒たちは互いに発表し合い、刺激を受けながら得られた成果を共有します。この一連の学習は『アクティブ・ラーニング』として高く評価されています。



中3：東北地域研究の口頭発表

◆音楽祭／合唱を通して心をひとつに

昭和二十八年の文化祭期間中に、旧陸軍の兵舎を改造した通称「馬小屋」で、「音楽会」として産声を挙げました。第五回（昭和三十三年）から合唱形式となり、現在は昭和女子大学人見記念講堂で音楽の専門家を審査員に迎え、中高ともクラス対抗の本格的な合唱コンクールを実施しています。毎年多くの保護者が来場し、中一から高三の合唱を堪能するばかりでなく、生徒の成長過程を目の当たりにすることが出来ます。

中学生は課題曲と自由曲、高校生は自由曲二曲で、中一／中二は混声合唱編成、中三／高三は男声合唱編成。毎年、中一のボーイソプラノや高三の圧倒的な歌唱力に大きな拍手が沸き起こります。

それでは、平成二十七年音楽祭での優勝クラスと楽曲を紹介します。

【中学の部】最優秀賞：三年B組

『時の旅人』（詞：深田じゅんこ／曲：橋本祥路）

『さみ歌えよ』（詞：谷川俊太郎／曲：信長貴富）

【高校の部】最優秀賞：三年四組

『方船』（詞：大岡信／曲：木下牧子）

『神話の巨人』（詞：小林純一／曲：中田喜直）



音楽祭での合唱：人見記念講堂



音楽祭に向けての練習風景：教室

新学年を迎えて桜が咲く頃、各クラスはすぐに音楽祭の合唱準備に取りかかります。選曲をし、指揮者・伴奏者・パトリリーダーを選出し、早朝・昼休み・放課後・休日の練習計画を立てて、合唱練習へ。初めての中学一年生は、OBや先輩から指導を受けながら挑戦します。高校三年生は下級生の見本となる男声合唱を自らに課し、猛練習に励みます。

これを支えるのが中一／高二で構成される音楽祭実行委員会。音楽室での練習スケジュール、特別参加団体の選出、当日のプログラム作成、人見記念講堂の下見とリハーサル等を済ませ、本番を迎えます。当日は、司会、受付・接待、録音・照明・音響、召集と誘導等の任務をこなします。主役は、もちろん舞台で歌う生徒たち。そして、企画から運営までを担当する音楽祭実行委員は「縁の下力持ち」であると同時に、真の「リーダー」でもあります。

◆体育祭／企画・運営することに意義がある

昭和二十二年の創立当初、母体である東京農業教育専門学校に合流する形で第一回運動会が発足し、中学校が三学年となった三年後に単独開催となりました。昭和三十九年の東京五輪では、本校にバレーボール練習会場（現体育館）が設置されたこともあり、スポーツに対する生徒たちの考え方が一変しました。昭和四十二年から生徒の希望でオリンピック形式となり、現在に至ります。

オリンピック形式とは何か。グラウンド、テニスコート、体育館、武道場、特設の土俵、校舎周りの道路のすべてが競技会場となって多くの種目が同時に展開され、生徒たちは多くの競技に参加しま



団体種目：学年別色別対抗の「綱引き」



団体球技種目：バスケットボール



個人競技：満員御礼の「相撲」

す。審判、召集、得点掲示等も実行委員会を中心に生徒が担当し、「参加することに意義がある」ばかりでなく、「企画・運営することに意義がある」の精神で体育祭が実施されています。

中高ともに学年の垣根を取り除いて色別のグループを形成し（例えば、紫組・中一／三のA組で編成、青組・高一／三の1組で編成）、二日間にわたって色別の対抗戦が繰り広げられます。

それでは、平成二十七年体育祭での競技種目を紹介します。

【団体種目】中一／高三まで全員参加

ドッジボール（または大縄跳び）、綱引き、棒引き

【団体球技種目】全員がどれか一つの球技を選択

サッカー（中一／二はミニサッカー）、ハンドボール、バスケットボール、バレーボール

【個人種目】生徒が自分の適性にあった競技を選択

- ・陸上競技（色対抗リレー、千五百米リレー、クラス対抗中距離リレー、スウェーデンリレー、駅伝）
- ・球技（卓球、バドミントン）
- ・格技（剣道、相撲）

以上の競技は勝敗や順位によって得点が加算され、閉会式では総合優勝やクラス優勝が発表され、校歌斉唱で二日間の幕が降ろされます。

◆文化祭／学校生活を謳歌する本校最大の行事／

「文化祭」と銘打った学校行事が産声を上げたのは、全六学年が揃った昭和二十七年でした。当時のプログラムからは、有志による演劇や英語劇、合唱や舞踏、外部講師による講演、他校女生徒の助けを借りた音楽演奏等で構成されていたことが伺えます。六十年を経過して様相は一変し、三日間で一万五千人以上の来客数を誇る本校最大の学校行事へと発展しました。中一～高二は学級単位で、高三は特別班で企画を練り成果を披露します。学芸クラブも一年間の研究成果を発表します。

【学級】 中一～二は展示、中三～高二は演劇

【高三】 学級の枠を外して五つの特別班を編成

ステージ班、演劇・コント班、食品班、緑日班、喫茶班（全員がどこかの班に所属して一年間活動）

【部・同好会】 演劇部、音楽部、駒場棋院、将棋部、科学部、生物部、文藝部、農芸部、語学部、パーソナルコンピュータ研究会、野山を愛する会、鉄道研究部、筑駒ジャグラーズ、折紙同好会、美術写真同好会、数学科学同好会、パズル同好会

【委員会等】 高校生徒自治会、中夜祭実行委員会
【教科展示】 地理科展示、美術科展示、書道科展示



中学1年生のクラス展示



食品販売：高3食品班が調理と販売



クラス演劇の舞台：高校1～2年



鉄道ジオラマ：鉄道研究部

本校文化祭の特色は、高校三年生の存在と文化祭実行委員会（中一～高二）の企画・運営力です。高三の活動は、高二の文化祭終了後の班分けからスタート。先輩や卒業生の助言を受けながら企画を練り、五月には模擬文化祭を実施。企画の再検討を行い、二期から（九月）はラストスパート。そして、当日を迎えます。経験した高三生は互いに掛け替えない存在となり、同時に下級生の憧れの的となります。文化祭全体を支える実行委員会では、すべての企画を円滑に実施するため、総務、広報、財務、印刷、器材、電力、電波、審査、装飾、受付・警備、清掃の各部門が綿密な計画の下に業務をこなします。閉会式では、圧倒的なパフォーマンスを示した高三生とそれを支えた下級生が互いに感謝を表します。毎年繰り返される感動的なシーンで、文化祭は幕を閉じます。



高3ステージ班によるパフォーマンス

3 部活動／心技体を通じての仲間づくり／

多くの運動部と学芸部が存在し、生徒たちは自分の興味関心と特性に合わせて選択します。二つ以上の部を掛け持つ生徒も多くいます。

入学当時の体力と技術は決して高くありませんが、スポーツへの関心、上達をめざす意気込みと論理的な理解力、仲間を大切にする気持ちが合体し、運動部では成果を挙げています。最近では、中学硬式テニス部が関東大会出場を飾り活躍しています。

学芸部では、個性豊かな生徒たちが才能を開花させ、駒場棋院、将棋部、パーソナルコンピュータ研究部、演劇部は関東大会や全国大会出場を獲得しました。

多くの部で中高合同の夏季合宿が実施され、寝食をとにした厳しい練習や稽古のもと、心技体のバランスの良い育成が行われています。

【運動部】 サッカー部、バスケットボール部、ハンドボール部、軟式テニス部、硬式テニス部、野球部（中学・軟式、高校・硬式）、卓球部、剣道部、水泳部、陸上部、中学野山を愛する会、高校山岳部

【学芸部】 音楽部、農芸部、生物部、駒場棋院、将棋部、パーソナルコンピュータ研究部、中学科学部、高校化学部、演劇部、中学鉄道研究部、数科学部研究部



中高サッカー部の夏合宿



中学野山を愛する会の夏季山行

4 グローバル人材の育成と発信

◆先導的教育の推進～筑波大学との連携を活かして～

本校は十四年間に渡ってSSH（スーパーサイエンスハイスクール）研究開発校の指定を受けています。現在は「豊かな探究心あふれるグローバル・サイエンティストを育成する中高大院連携プログラムの研究開発」をテーマに、グローバル人材育成をめざした探求的な教材開発と実践を試みています。この研究開発事業では、附属学校として筑波大学のリソースを十分に活用し、大学教員による出前授業、中高生の筑波大学訪問、筑波大学GFEESTによる個別指導等を実施しています。

毎年二月には中学三年生全員が筑波大学を訪れ、「大学で何を学ぶのか？」をテーマに全体講演、研究室見学や授業参加を体験しています。七月には高校二年生全員が希望する研究室を訪ね、学問の最先端に触れながら第一線の研究者から直接指導を受けています。右下の表は本年七月に実施された講座タイトルと担当していたたいた研究室の一覧です。生徒たちは「学問とは何か」「研究とは何か」を目の当たりにし、その楽しさと厳しさを感じ取っています。この体験が将来に大きな影響を与え、二、三十年後に日本や世界を牽引する多くの研究者やリーダーが輩出されることを期待しています。



中3：筑波大学訪問での全体講演



高2：筑波大学研究室訪問

筑波大学研究室訪問での開講講座：一部掲載

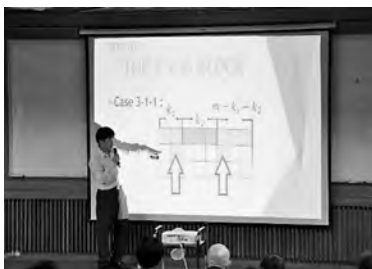
体験講座タイトル	研究科・専攻
グローバル化の体感～多様な留学生と一緒に英語で模擬国連を～	人文社会科学部研究科 国際公共政策専攻
ゲーム理論・経済理論の実験	人文社会科学部研究科 経済学専攻
生物の不思議 『なんでだろう？』を化学する	生命環境科学研究科 生命産業科学専攻
微生物燃料電池～微生物が電気を作る～	生命環境科学研究科 環境バイオマス共生学専攻
“見える”を可能にする蛍光タンパク質！	生命環境科学研究科 生物機能科学専攻
ニュートンからケプラーへ	数理物質系・数学域
NMRで分子の構造を調べてみよう！	数理物質科学研究科 化学専攻
ビッグデータの情報科学	システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻
知識共有の世界への招待	図書館情報メディア研究科 図書館情報メディア専攻
iPS細胞の実用化に向けて	人間総合科学研究科 生命システム医学専攻

◆国際教育の推進～国際舞台で活躍する人材の育成～

平成二十一年から毎年、SSH研究開発事業の一つとして台湾台中第一高級中学（日本の高校に相当）に生徒を派遣し、授業参加や生徒研究発表会を通して国際交流を実施してきました。七回目となる今年は校長以下教員三名と生徒十六名を派遣し、国際協定（姉妹校）を締結しました。両校とも国際科学オリンピックに多くの生徒を派遣し、将来のアジアを担う多数の科学者や技術者を輩出することが期待されています。



台中一中と国際協定締結



台中一中での生徒研究発表会

平成二十五年から毎年、大韓民国釜山国際高校との相互交流を実施しています。一月には本校で三月には釜山国際高校で授業や史跡見学などを通して、文化交流を盛んに行っています。

これ以外にも、他のSSH校の国際交流企画に招待され、年間四十名程度の生徒が海外での交流を体験しています。過去六年間の交流状況は次の通りです。

【生徒と教員の派遣先】アメリカ合衆国、オーストラリア、中国、台湾、大韓民国、タイ国、シンガポール、海外から本校への訪問団】米国、オーストラリア、中国、台湾、大韓民国、タイ国、シンガポール、インド、モンゴル、ブルキナファソ、アフリカ諸国

この十年、日本は各種国際科学オリンピックに積極的に代表団を派遣するようになりました。その恩恵を受け、本校生徒たちも海外での貴重な国際交流を体験しています。そして、多くの生徒たちが将来、国際的な科学の発展に貢献してくれると期待しています。

- 【国際数学オリンピック】金12、銀19、銅6
- 【国際情報オリンピック】金5、銀6、銅5
- 【国際物理オリンピック】銀2
- 【国際化学オリンピック】金3、銀4、銅2
- 【国際生物学オリンピック】金3、銀4、銅3
- 【国際地理オリンピック】金2、銀2、銅1
- 【国際地学オリンピック】金1、銀1、銅1



釜山国際高校との国際文化交流：本校にて



教育研究会シンポジウム

◆教師教育と社会貢献く国や地域の拠点校としてく

本校の伝統的な全人教育やSSH研究開発事業を初めとする先進的な教育の成果を社会に発信することは、国立大学法人の附属としての使命と考えています。

毎年十一月には教育研究会を開催し、公開授業と教科毎の協議会に加えて、現代の教育課題をテーマにシンポジウムを実施しています。また、従来からの教育実習等による教員養成以外に、現職教員の資質向上にも寄与しています。平成二十一年から始まった教員免許状更新講習では、本校を会場として講習を企画・運営するとともに、多くの教員が講師を務めています。受講者総数は五千人近くに達しました。

教員ばかりでなく生徒たちも地域の教育に積極的に参加しています。夏休みには近隣の目黒区駒場小学校の児童を対象にサマースクールを、十一月には茨城県大子町立小学校で高校化学部による出前実験授業を実施しています。

平成十九年度、筑波大学の社会貢献プロジェクトとして「筑駒アカデミア」が発足しました。本校関係者（教員・生徒・卒業生など）の人材を活用し、地域住民に対して公開講演会（年二～三回）と公開講座（三月下旬）を開催しています。この企画は、世田谷区の共催事業、目黒区の後援事業の認定を受け、児童からお年寄りまで多くの方々に楽しんでいただいています。

◆インクルーシブ教育

く附属学校群の取組みく

筑波大学には六つの普通附属と五つの特別支援学校が存在し、各学校間で教員と児童生徒による交流が盛んに行われてきました。現在、この十一校を学校群（スクールクラスター）と位置づけ、様々な障害のある児童生徒が共に教育を受けられるインクルーシブ教育システムの構築

筑駒アカデミア公開講座一覧

講座名	講師名
1 点と線で生物を描く ～大人のチリメンモンスター～	理科(生物)教諭
2 ワインから見える世界史 その2	地理歴史科(世界史)教諭
3 Brush Up Your English ー英語でコミュニケーション・入門編ー	英語科教諭
4 はじめよう! ジャグリング	中高ジャグリング同好会 顧問・生徒
5 人と人をつなぐブラインドサッカー	サッカー部顧問・生徒
6 将棋を楽しむ	プロ棋士 将棋部顧問・生徒
7 筑駒LBC (「3・1・2弁当箱法」実習)	体育科教諭 養護教諭
8 環境地図をつくろう	中学副校長
9 いろいろな多面体をつくろう	数学科教諭
10 高校生といっしょに実験してみよう	高校化学部顧問・生徒
11 化石のレプリカを作ろう	理科(地学)教諭



化学部の出前授業…
茨城県大子町



筑駒アカデミア公開講座

をめざし、一体となって日々前進しています。本校も特別支援学校との様々な交流を重視し、多くの取組みを行っています。

高校二年では、総合学習として『ともにいきる』というゼミナールが開講されています。附属特別支援学校の先生方の指導と、児童生徒間の工夫をこらした交流を通

して障害科学を学んでいます。

また、部活動による交流も盛んに行われています。毎年冬には、附属視覚特別支援学校に筑波大学蹴球部、附属中学校サッカー部、附属駒場中学校サッカー部が集合し、ブラインドサッカーを通して互いの理解を深める交流が行われています。附属聴覚特別支援学校とは、互いの日程が合えば卓球部練習試合を実施しています。

本年度、七校の児童生徒と十一校の教職員による新企画『黒姫高原共同生活』が発足しました。様々な障害のある児童生徒を含む筑波大学附属学校群の児童生徒が、二泊三日の共同生活の準備と実践を通して多彩な交流活動を展開し、合理的配慮の大切さを学びながら個性の尊重と伸張をめざす画期的な実践を行いました。



高2：ゼミナール『ともにいきる』での交流



黒姫高原共同生活：附属学校群で実施

- 【1日目】 出発→バス内交流→館内オリエンテーション→野外炊飯（夕食）
- 【2日目】 ラジオ体操→アイスクリームづくり→黒姫高原自然散策→お土産作り→キャンプファイヤー&花火
- 【3日目】 ラジオ体操→野尻湖ナウマンゾウ博物館見学→バス内交流→解散

平成27年度 茗溪会賞（大学院修了者）受賞者・活動テーマ

研 究 科	専 攻	受賞者氏名	推薦専攻長	テ ィ ャ マ
教育研究科	スクールリーダーシップ開発	齋藤 眞弓	飯田 浩之	小学校における道德教育を主題とした校内研修の指導助言活動
	教科教育	綿谷 聡	伊藤 純郎	水文科学と環境教育をつなぐ地域研究への貢献
人文社会科学	国際公共政策専攻	坂本 裕基	竹中 佳彦	地方創生のためのフットパス研究・推進活動
ビジネス科学	企業法学専攻	樋口 尚文	大野 雅人	日本公認会計士協会における活動
数理物質科学	数学専攻	石井 大海	坪井 明人	国際的研究集会を企画・立案し、研究成果の発信に貢献
	物理学専攻	高橋 和希	矢花 一浩	宇宙線ミュー粒子を用いた福島第一原子炉の内部透視による観測
	物性・分子工学専攻	国府田将太	日野 健一	スーパーサイエンスハイスクール高校生に対する振動分光法の指導による科学啓蒙活動
システム情報科学	社会工学専攻	川岸 卓司	谷口 守	サービス工学学位プログラムにおける社会貢献活動の推進
	リスク工学専攻	土方 孝将	鈴木 勉	自然災害による被災地の復旧・復興のための支援活動
	コンピュータサイエンス専攻	高杉秀有平	加藤 和彦	社会問題に対して情報技術の利用を促進するアウトリーチ活動
	知能機能システム専攻	穴戸 英彦	葛岡 秀明	映像メディア技術の導入によるスポーツ科学の推進活動
	構造エネルギー工学専攻	川畑 遼介	西岡 牧人	水辺からのまちおこしへの貢献と「川の日」ワークショップにおける市民向け研究発信
生命環境科学	生物資源科学専攻	飯島 綾	山岡 裕一	実験教室「微生物がパンを作る！筑波大学で微生物実験&見学会」の立案・運営・実施
人間総合科学	スポーツ健康システム・マネジメント専攻	木野 彩子	菊 幸一	ダンスワークショップを通じた震災復興支援活動及びダンスアーカイブ活動への貢献
	教育学専攻	小林 優子	清水 美憲	「つくば駅前キャンパス」の運営による地域社会への貢献
	心理専攻	川嶋 賢治	原田 悦子	東北地方に住む児童を対象としたボランティア活動
	心理学専攻	新原 将義	原田 悦子	状況論に基づく音楽アウトリーチの実践
	生涯発達専攻	松岡 広樹	藤生 英行	地域精神障害者の働きがいを高める就労自立支援活動
		岸本 直美	藤生 英行	地域保育行政および地域力推進事業全般に対する貢献
	生涯発達科学専攻	松井 優子	廣田 栄子	一般企業における知的障害者の雇用推進に関する活動
	ヒューマン・ケア科学専攻	関口 雄一	庄司 一子	児童生徒のいじめ問題についての教員と子ども達への支援活動
	体育科学専攻	兵頭 和樹	征矢 英昭	利根町における運動教室の実践による介護予防事業への貢献
	芸術専攻	箕輪佳奈恵	守屋 正彦	国際理解教育の推進活動
図書館情報メディア		なし		

平成27年度 茗溪会賞（芸術部門）受賞者・作品名

所 属	領 域	受賞者氏名	推薦専攻長	作 品 名（作品の概要）
芸術専門学群	特別カリキュラム版画	黒田 舞	田島 直樹	Emi, Natsuki I /Natsuki II (エッチング3点)
	情報デザイン領域	亀崎 玲奈	内山 俊朗	振り子時計 (情報表示装置)
人間総合科学研究科	クラフト	福山菜穂子	齋藤 敏寿	風景のメモ (陶、ガラス素材の作品36点)

「茗溪会に関する 有識者懇談の会」 開催

平成28年2月6日(土)正午から茗溪会館において、「茗溪会に関する有識者懇談の会」が開催されました。本会の趣旨は、茗溪会及び茗溪三法人に関係が深い有識者を招き、新法人移行後3年経過した茗溪会の現状について報告し、それらに対するご意見を頂くために開催されたものです。出席された有識者は、次の5名の方で、茗溪会からは理事長ほか理事10名、監事1名が出席し、和やかな雰囲気の中、忌憚のない意見交換が行われました。

・春 成 幸 男 (昭23年 東京高等師範学校理科第三部、昭26年 東京文理科大学動物学専攻)

・五十嵐 耕 一 (昭32年 東京教育大学文学部法律政治学専攻)

・小 野 清 子 (昭33年 東京教育大学体育学部体育学科)

・長 瀬 要 石 (昭35年 東京教育大学農学部農村経済学科)

・渡 辺 好 明 (昭43年 東京教育大学文学部経済学専攻)

最初に、理事長から新法人発足後の3年の歩みと茗溪会館の利活用の経緯について、次のような報告がありました。

○新法人発足に伴い、茗溪三法人の独立、同窓会への傾斜、代議員制度の採用など新たな変化を余儀なくされたが、公益目的事業での資産の費消は、あと2年で解消する予定である。

○理事会と委員会体制は、円滑に機能している。事務局体制については、大塚事務所と筑波事務所が緊密な連携をとりつつ円滑に推進できるよう刷新した。また、茗溪会の事業については、同窓会としての互助事業の拡充、大学への支援、公益目的事業の充実の三本の柱を立てるとともに財政安定のために、茗溪会拡充キャンペーンを推進している。

○茗溪会館の利活用については、会館問題特別委員会を設けて検討し、(株)シーズンと定期建物賃貸借契約を締結した。選定に際しては、本会館を従来通り、会員や関係者が利用しやすく、旧会館の調度品や備品等も利活用して先人のレガシーを偲ぶことができることを重視した。

続いて、西川副理事長から茗溪会の活動状況について、また、常務理事から茗溪会の経営施策について、次のような報告がありました。

○大学への支援活動としては、学生支援として、学生の社会貢献活動への支援と茗溪会賞の顕彰があるが、大学に対する支援としては、周年事業への寄附や卒業祝賀会への支援がある。

○大学の卒業生は多方面で活躍しており、教育界中心に支えてきた茗溪会は多業種の会員からなる新しい同窓会活動の構築が求められている。東京都などでは様々な活動が開始されているので、それらのネットワーク化が必要である。

○校友会は、大学に関わる全ての人が集い交流し大学を支えるバーチャルな組織として生まれ、茗溪会は、その趣旨に賛同し参加を表明した。今後大学とは140年余の互恵の関係が絶つことのないよう真摯に語り合い良好な関係を築いて行きたい。

○平成7年、第一生命から建設資金を借り受け、新しく茗溪会館を建て替えたが、本会館は、茗溪ビルディングと電気設備等を共有し一体の建築物として成り立っている。

○茗溪会の財政収入は、会費収入、土地の賃貸収入、会館運営の委託収入の3つである。すでに会費収入は、筑波大学卒業生によるものが大半で、土地の賃貸収入は、第一生命からのもの、会館運営の委託収入は、(株)シーズンからのものである。今後は、経済状況の変化にも対応できるようにしてこれらの財産を後輩に継承していく。

以上の報告の後、出席者全員が写真館に移動して集合記念写真の撮影を行いました。
その後、新泉・筑波の間で食事を兼ねて懇談会が始ま

り次のような意見交換がありました。

○教育重視であった茗溪会は、時代も変わり大学中心でいかなければならない宿命にあり、校友会は茗溪会と同じ趣旨で進められていくことが大事である。

○会費収入の減少には、会員を増やす必要があるが、会費が基本との考え方を堅持し、会費で独立採算できるようにすべきで、代議員制度をもっと活用して会費納入率を上げたかどうか。また、会費の完納期間の延長、終身会費制等についても検討し、アンケートを実施してはどうか。

○茗溪会は財政的に健全であること、会員や第三者にその収支状況を分かり易く公表した方がいい。答申には、それらの数字を掲げるべきである。

○校友会と茗溪会は良好な関係を保ち、海外拠点を設けるなど大学と連携・協力して母国で活躍している留学生や外国駐在の卒業生が交流できる場を設ければ大変意義がある。

○大学卒業後3年間は会費納入が猶予されているが、3年後の現住所の把握と会費の確保は難しいので、それらの方法は再検討する余地がある。

○校友会は、大学が主体的に決めるべきもので、大学と茗溪会はお互いに尊重する立場にある。そのことを認識し、お互いに領分を侵さず適切な立場で協調する必要がある。

以上を受けて、理事長から、このような会を年1回程度開催したい、また、会の名称については次回までにふさわしい名称を考えたいとの発言があり、閉会しました。その後、リニューアルした茗溪会館の内装と美術品、調度品などの見学会が開催されました。



平成28年度 一般社団法人茗溪会 公益・共益・広報等 年間行事計画 (案)

1. 公益事業

(1) 公開講座

① 東京地区

(その1)「英語シリーズ」第13回 講師：藤原保明先生
日時：6月25日(土)予定 会場：茗溪会館4F

(その2)テーマは調整中 講師：守屋正彦先生 他
日時：調整中 会場：茗溪会館5F

② つくば地区 共催 筑波大学、筑波学都資金財団

(その1)「花のある暮らしとエピソード」 講師：西川綾子先生
日時：7月18日(月)海の日 会場：筑波研修センター

(その2)「英語シリーズ」第14回 講師：藤原保明先生
日時：9月24日(土)予定 会場：筑波研修センター

*公開講座の報告(概要)等は、季刊誌「茗溪」に掲載の予定

(2) 顕彰(第15回)

① 対象 国内外で、継続して社会貢献(人材育成を含む)活動を行ない、その実績、成果を上げている団体、個人を対象とする。筑波大学学生・大学院生を含む。

② 対象者の選定

社会貢献活動に関しては、9月末日までに推薦候補者を、各地域組織、本部理事等を通じて公募し、平成28年10月に開催を予定する選考委員会で選考した結果について理事長の承認を得る。11月に行う顕彰式で該当者に「茗溪会賞」を贈る。一方、筑波大学生、大学院生については、学内におかれた選考委員会で選考した対象者について理事長から承認を得る。

③ 顕彰録 平成29年3月に顕彰録を作成して顕彰者及び関係者等に贈呈する(筑波大学卒業式に間に合わせる)。

2. 共益事業

① 筑波大学生の活動等への支援強化。

② 世代間や各地域組織等をつなぐ活動の充実強化。

③ 会員相互の交流の推進。グラントフェスティバル共催。

賀詞交換等の時期にあわせた交流広告の季刊誌「茗溪」への掲載。

(1) 「追悼のつどい」の開催

脱・宗派として開催し、遺族、関係者を招き、逝去された会員等の遺徳を偲ぶ。

日程：平成28年9月3日(土)予定

(2) 学生の就職活動を支援するための講座の開催 実務は、筑波大学学生就職課と協力

① 11月～1月の期間に2回程度、筑波大学との共催(大学中心)

② 3月中の3日間で「教職受験対策研修会」の企画、実施。

ただし、個人負担分の受講料のうち、一部を茗溪会が助成。

(検討) 大学と茗溪会との連携による教職以外の分野の研修会開催の課題

3. 広報事業

(1) 季刊誌「茗溪」の発行 年4回

会員の期待に応える情報提供に努めるとともに、特集記事、会員関連記事を内容として、一般市民による茗溪会への一層の親近感も醸成し筑波大学等からの“知”の還元を図る。

(2) 茗溪会HP掲載内容等の充実

毎月第3水曜日は

茗溪会館で会いましょう

～発足間もなく1年 茗溪・筑波大学産業人会～

総合大学となった筑波大学創設から四十有余年、その卒業生の就業先も、教職員や教育関係、研究職にとどまらず、広く企業・官公庁に広がり、あるいは自ら起業したりフリーランスでお仕事をなさる方々も数多く輩出してきました。

この茗溪会が東京師範学校、東京高等師範学校、東京文理科大学、東京教育大学、そして筑波大学と組織を改編し生まれ変わりながらも一貫してつながる同窓会組織であることは、ゆるぎない事実です。その同窓会組織を構成する大半が教職員であった時代が、長く続いてきたことも事実です。

一方で平成26年度就職者の内訳を見てみると、教員が12%なのに対して企業が76%になっているという実態が見えてきます（筑波大学学生部就職課データ）。

そこで平成26年、東京都茗溪会（平成25年にそれまで28組織に分かれて活動が停滞しがちであった東京都内の茗溪支部を統合する形で発足した会）において発議されたのが、今回ご紹介する「茗溪・筑波大学産業人会」です。

「会」という名がついていますが、そこには構成員名簿や組織図や会則があるわけではありません。民間企業や官公庁、もちろん教員や研究職の方も含めて、業界・世代の枠を超えてより幅広く交流し、相互に学習し合う機会を作ろうとして発足した、フレキシブルな同窓情報交換会です。よって、同校の卒業生であればどなたでも、茗溪会会員であるか否かに関わりなく参加資格があるとされています。

産業人会は、毎月第3水曜日19時より、新装なった茗溪会館で行っています。毎回、同窓生の中からお一人に話題提供をお願いし、約1時間お話を伺います。その後で少しのアルコールと軽食を楽しみながら、名刺交換や

歓談を1時間半行います。参加費はお一人2千円、これはアルコールと軽食の実費です。

平成27年6月17日の第1回から、東京都茗溪会総会が行われた11月を除き毎月開催してきており、去る3月16日で9回目の開催となりました。

毎回20～30名のご参加をいただいておりますが、その内訳は、年齢・業種とも実に多岐に渡っています。東京教育大を昭和41年に卒業された先輩から、今年就職した新社会人まで、業種はそれこそメーカー、商社、金融、IT関連、マスコミ、コンサルティング、教職員、政府外郭団体、フリーランス：など、列挙に漏れがないか心配になるほど広いジャンルに及んでいます。

今までの話題提供者と内容をかいつまんでご紹介しします。

第1回／平成27年6月17日

話題提供者／塩津 真（82年人間学類卒 87年経営・政策科学研究課修了 ㈱キャリアアンカー代表コンサルタント）

テーマ／『企業の人事・組織戦略の潮流』

初回は事務局が口火を切る形で話題提供をいたしました。コンサルタントとして自身が活動してきたこの20年間の「人事」についての流れをたどるとともに、「若年就業者の不足&減少の見通しへの対応」「グローバル化への対応」「労働法規の改正・労務管理問題の変化」といった「就業」を取り巻くこれからのトレンドについての話を展開いたしました。

第2回／平成27年7月15日

話題提供者／橋本直彦様（81年人間学類卒 ㈱博報堂ブランド・イノベーションデザイン局 局長代理）

テーマ／『広告業界の現状』

近年の広告業界の潮流を、各種メディアの変遷や表現手法の進化やトレンド、主要なスポンサー企業の変化などを題材に、ご自分が手がけられた作品をからめながら解説していただきました。特に、テレビに代表



▲1時間の話題提供タイムは、いつも中身が濃いものに



▲同窓の話題提供者さんたちが、多岐に渡る業界固有のお話を惜しげもなく披露してください

されるマスメディアの時代からネットワークメディア中心へと変化してきている現代においての広告ビジネスのあり方等、おおいに示唆に富んだ情報をご提供いただきました。

第3回／平成27年8月19日

話題提供者／高橋誠様（66年東京教育大学心理学科卒
筑波大学大学院修士課程修了（株）創造開発研究所代
表）

テーマ／『ネーミングの良し悪しが勝負を決める！』

高橋さんの近著「最新のネーミング強化書」をもとに、「BIG EGG」「ゆうバック」など、創造開発研究所で手がけたネーミング開発の実例や裏話を披露いただきました。加えて参加者全員で、「カード・ブレインライティング法」を用いたワークショップを体験。お題は「茗溪・筑波大学産業人会という名称に替わる、もっと覚えやすく親しみやすい名称の提案」でした。

第4回／平成27年9月16日

話題提供者／松村直樹様（86年社会工学類卒 88年環境
科学研究科修了（株）リアセック代表取締役）

テーマ／『大学生のキャリア感覚／今大学ではどんなことが起きているか』

18歳人口は20年前と比べて半減しているのに、大学入学者数自体は微増している…このことが今どきの「大学生という人たち」を特徴づけているのだという切り口から、松村さんのお話は始まりました。そんな大学生のキャリア意識の変化や企業が望む人材像、それに向けて新たな取り組みをしている大学教育の現場など、データと実例を元に話題が広がりました。

第5回／平成27年10月21日

話題提供者／秋谷俊之様
（83年人間学類卒（株）学
研塾ホールディングス取
締役 経営企画本部長）

テーマ／『教育改革の今までとこれから／民間教育産業の果たすべき役割』

秋谷さんの話題は、文科省や厚労省の公的資料

▲懇親会・名刺交換会も熱いテンションのまま、短く感じられます

にとどまらず、戦後教育改革の歴史や塾業界のIR情報から読み解く潮流など、幅広く示唆に富んだものとなりました。OEC Dの学習到達度調査では、国際社会の中で復活の兆しが見える日本の教育ですが、一方で子どもたちの自己肯定感や社会参画意識の低さ、ひいては人としてのエネルギーの低さが気になるという報告もありました。

第6回／平成27年12月17日

話題提供者／渡部清二様（90年基礎工学類卒 四季リサーチ株式会社 代表取締役）

テーマ／『四季報を通じて見える将来展望と、今まで聞いたことがない「お金と投資」の話』

渡部さんは、「会社四季報」を18年間72冊読破し、そこから見えてくる「気づき」をもとに投資家の育成や支援を目的とするコンサルをしています。投資とは何かといった命題に、渡部さんはひとつの結論を提示しています。「子どもに投資する」という言い回しに込められた投資マインドが、それを解く鍵。子どもの健康や成長を願うのと同じように、長期視点の無償の愛が投資だと。

第7回／平成28年1月20日

話題提供者／星野雄一様（97年社会工学類卒 株式会社iTiDコンサルティングディレクター）

テーマ／『製造業の現状と開発力強化の方向性』

星野さんは、製造業の設計・開発分野に特化した業務・組織改革を生業とする会社において、メーカーの新規事業推進や人材育成といった領域でご活躍です。ものづくり立国・日本という呼び名に秘められた実態は何なのか、製造業が置かれている環境はどうなっているのか、後継者は育っているのかなど、示唆に富む話題をたくさん提示されました。

第8回／平成28年2月18日

話題提供者／登里民子様（90年日本語日本文化学類卒 国際交流基金アジアセンター日本語教育専門員）

テーマ／『東南アジアの日本語教育と日本語パートナーズの活躍／インドネシアを中心に』

登里さんは独立行政法人・国際交流基金で、東南アジアの日本語教育現場へ「日本語パートナーズ（NP）」を派遣する仕事をしています。インドネシアで展開されている日本語教育の現状を、写真や動画を使いながら紹介していただきました。日本語を学びたいと思っている学生は多いけれど、教材や教授法情報が不足していたり、施設や設備が不十分だったりという問題があるといった指摘もなされました。

第9回／平成28年3月16日

話題提供者／野村 宏様（87年経営・政策科学研究科修了（株）関電工 取締役常務執行役員）

テーマ／『電力全面自由化』を考える

長年電力営業の第一線にいらつしやる野村さんに、「電力全面自由化」直前のタイミングでお話を伺うことができました。新電力と呼ばれる会社が200社強名乗りをあげている昨今、マスコミやDMなどいろいろなセーλουςを受ける私たち一般ユーザは、何を見極めて選べばいいのか、また今後ガスも同様に全面自由化になることや再生エネルギー発電の拡大と課題など、深く考えさせられる話題となりました。

この産業人会をスタートして、間もなく1年になろうとしています。懇親会の席でよく聞かれるのが、「こんな異業種交流の場を待っていた」「社会に散らばってそれぞれががんばっている同窓と会って話ができるのは有意義だ」という感想です。

毎月第3水曜日に茗溪会館に行けば誰かに会える、そんなハードルの低い運営を今後もしてまいります。ぜひお気軽にご参加ください。情報は茗溪会ホームページに掲載しています。

（東京都茗溪会役員 産業人会事務局 真当哲博・塩津真）
<http://www.meikei.or.jp/>



一般社団法人 茗溪会(第五回)

平成28年度 定時総会開催のご案内

※日 時：平成28年 5 月26日(木) 午後 1 時30分から

※場 所：茗溪会館二階「茗溪」の間

※議 題：平成27年度事業報告、決算報告、平成28年度事業計画(案)予算(案)及び役員選出。
また、総会終了後、懇談会を予定しております。

平成28・29年度 一般社団法人茗溪会 代 議 員 一 覧

推薦地域組織	姓 名	卒年卒科・群	推薦地域組織	姓 名	卒年卒科・群	推薦地域組織	姓 名	卒年卒科・群
筑波大	松村 明	昭55筑医専	足立	田原 章孝	昭51教大応数	新潟	永井 成一	昭41教大法政
筑波大	山本 哲哉	平1筑医専	荒川	井上 芳明	平1筑体	新潟	内野 信昭	昭56筑体
附属校	小山 浩	昭54筑体	板橋	竹村 恭一	昭56筑一自	新潟	坪池 宏	昭56教二人間
図情橘会	森 茜	昭40図短特養	大田	飯島 睦子	昭56筑修教	石川	久下 恭功	昭49教大体
図情橘会	関川 雅彦	昭54図短特養	葛飾	渡邊 悟	昭62筑博農	福井	南部 則雄	昭53筑体
図情橘会	寺沢 白雄	昭59図大図情	北	村松 広英	昭57筑一社会	静岡	岡 丹治	正昭56筑三基
図情橘会	大場 高志	昭51図短特養	江東	三保 和彦	昭59筑一自	静岡	岡 齊藤	浩幸昭58筑二農林
図情橘会	茂出木理子	昭60図大図情	品川	真当 哲博	昭57筑二人間	静岡	岡 熊野	善介昭55筑修教
北海道	山本 伸弘	昭52教大健	新宿	浅井 一郎	昭55筑一人文	愛知	村松 利之	昭53筑体
北海道	大沼 寛	昭47教大武	杉並	奈良 隆	昭53筑体	愛知	川村 昌宏	昭56筑一自
青森	滝口 孝之	昭55筑体	墨田	上村 肇	昭55筑一社会	愛知	竹下 裕隆	昭56筑一社会
岩手	平藤 淳	昭54筑体	世田谷	徳田 安伸	昭55筑二農	岐阜	阜 大橋	則雄昭57筑二人間
宮城	松坂 孝	昭55筑体	台東	柳 久美子	昭50教大体	滋賀	町田 登	昭47教大健
秋田	越後谷真悦	昭55筑体	千代田	戸谷 賢司	昭48教大体	三重	辻 昭司	昭55筑体
山形	津田 浩	昭58筑一自	中央	中村 穎司	昭35教大國	京都	川合 英之	昭56筑体
福島	鈴木 弘文	昭46教大農	豊島	久保 淳	昭56筑体	大阪	松本 秀範	昭53教修農林
茨城	郡司 丈児	昭53筑一人文	中野	浦部 利明	昭56筑一人文	大阪	岡村多加志	昭55第一自
茨城	広瀬 茂	昭57筑三社工	中野	池田 浩二	昭57筑芸	兵庫	永井 邦治	昭54筑体
茨城	鈴木 一弘	昭58筑修教	練馬	柴田 誠	昭55筑一自	奈良	谷垣 康	昭53第一人文
茨城	高瀬 宏樹	昭55筑一自	文京	塩津 真	昭62筑修経	和歌山	土肥 二郎	昭57筑一自
茨城	仙波 操	昭50教大農経	港	笹 のぶえ	昭56筑二比文	鳥取	小倉 健一	昭53筑体
茨城	武井 秀一	昭51教大化	港	松村 直樹	昭61筑三社工	鳥取	根 弘光	昭46教大体
茨城	中島 博司	昭57筑一人文	目黒	金田 喜明	昭56筑一人文	岡山	山 隆史	昭55筑体
栃木	宇田 貞夫	昭52教大応数	北多摩北	守屋 一幸	昭52教大文	広島	島 大辻	明昭47教大体
栃木	齋藤 宏夫	昭58筑修教	北多摩南	初見 豊	昭52教大農	山口	鍋井 邦久	昭38教大体
群馬	市川 敏美	昭57筑二比文	西多摩	小林三代次	昭51教大英	徳島	安永 潔	昭55第二農林
群馬	馬 福島 実	昭56筑二農林	八王子	小島 和雄	昭36教大農	香川	高井 信一	昭55筑体
埼玉	荒井 修二	昭25理三	神奈川	嵐 實	昭29教大農化	愛媛	畑野 智司	昭55筑二生
埼玉	相澤 鎮夫	昭27理三	神奈川	小山 和夫	昭33教大教	高知	下坂 速人	昭53筑体
埼玉	奥谷 多作	昭34教大工芸	神奈川	京野 勝	昭40教大農化	福岡	岡 永沼	真紀昭57筑体
埼玉	玉 前島 富雄	昭47教大木工	神奈川	佐々木悦子	昭46教大体	佐賀	賀 野中	通兼昭53筑体
千葉	葉 小宮山伴与志	平1筑博体	神奈川	本木 幹雄	昭50教大体	長崎	崎 山口	千樹昭60教二生
千葉	葉 青木 寛	昭48教大武	神奈川	大畑多津雄	昭52教大数	熊本	川上 修治	平1筑修教
千葉	葉 嘉村 茂邦	昭50教大物	山梨	菊島 良治	昭54筑一人文	大分	渚 洋行	昭53筑体
千葉	葉 内藤 秀子	昭53筑体	長野	平野 吉直	昭54筑体	宮崎	児玉 洋一	平2筑三社工
千文部科学省	葉 猿渡 末治	昭55筑一自	長野	竹村 和也	昭57筑三基	鹿児島	原口 和哉	昭56第一自
		昭63筑一自	長野	小口 俊幸	昭54筑二比			

東京都教育研究懇談会 「木三会」の報告

『木三会』とは

平成28年2月14日(日)茗溪会館において「東京都教育研究懇談会『木三会』」が行われました。この会は東京都の高校、中学、小学校の管理職、文部科学省、教育委員会に携わる方、またはそのOBで構成されており、様々な教育課題に対する研修会と会員相互の親交を深めることを目的としています。会員数は約七百名に及んでいます(今回の参加者は54名)。

今年度の研修会

「サバイバル・アクティブラーニング」

講師 西川 純先生

今年度の研修会は、講師に上越教育大学大学院教授、西川純先生を迎え「サバイバル・アクティブラーニング」というテーマで約1時間半ご講演を頂きました。西川先生は筑波大学第二学群、大学院を終了されている我々の同窓です。



西川 純先生

講演の内容

講演の内容を要約すると「昨今アクティブラーニング(以降AL)という言葉が様々な所で耳にする。文部科学省は教育改革を進める中、これまでの知識重視の教育から思考力判断力を身につけさせる教育への転換を求めている。その具体的な切り札としてALを推奨している。(AL:教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法の総称)それは単に問題解決型学習、体験学習を実行すればよい、ということではなく、答えのない問題に対し答えを想像していく力を身につけさせるためである。その背景には、世界で日本が生き残るためには、好奇心や想像力を身につけることが不可欠である。ALはグローバルな世界の中で生き残りをかけた学習法である。」先生の様々な体験やPISA(国際学力評価テスト)



懇談会

の上位国が必ずしもノーベル賞受賞国とは一致していないこと、など情熱あふれる語り口で一人ひとりに問いかけるようにお話をされ、90分があつという間に過ぎました。参加者も圧倒されたと同時に教育改革・ALの背景や奥深さをあらためて知ることでもでき、有意義な時間となりました。

その後、別室にて懇談会を行いました。参加者からのあいさつで、現場での課題や苦労話あるいはOBからの叱咤激励もあり、全員が談笑しあい、同窓が集まり安堵する場となったと同時に元気をもらったひと時にもなりました。

(木三会事務局 都立文京高校 校長 久保 淳)



会費完納会員の皆さまへ

平成28年 4月15日

一般社団法人 茗 溪 会
理事長 江 田 昌 佑

平成28年度『茗溪フェロー』 ご協力をお願い

茗溪会が新法人としてさらに発展・進化していくために、東京教育大学等前身諸学校から筑波大学にわたる多様な世代を結び、教育界だけでなく広く実業界に活躍する卒業生との地域・職域をこえた連携を強化することを目的として、「茗溪会拡充キャンペーン」を推進し、その一つとして会費完納会員を対象として「茗溪フェロー」を創設いたしましたところ、一昨年は1,000人を超え、合計約460万円、昨年は700人を超え、合計約350万円のご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

完納会員の皆さまには、35年間にわたり茗溪会へのご支援をいただき、これまで本会を支えていただきましたことは、誠に感謝に堪えません。

茗溪会は筑波大学や在学生、さらに新しい卒業生に一層の支援をすることは勿論ですが、本会の老・壮・青の力を集めて大きく発展することを期しています。そのためにも、皆さまには本年度もご協力をお願い申し上げる次第でございます。

「茗溪フェロー」の募集要項

既に会費を完納した会員の皆さまに呼びかけて「茗溪フェロー」として皆さまからの寄付を仰ぎ、今後の茗溪会の運営に寄与していただくことを目的といたします。

- 1 寄付金 1口 2,000円／年間
- 2 支払い方法 口数の選択 1口以上
6月と12月にお送りする払込取扱票に所定事項をご記入の上、郵便局窓口またはATMから送金してください。
会員番号は必ず記入してください。
(お送りした封筒の宛名に記載してある8桁の番号)
- 3 納入口数に応じて感謝状及び記念品を贈呈するとともに、季刊誌『茗溪』誌上にお名前を掲載いたします。

第15回 顕彰「茗溪会賞」候補者の 推薦依頼について

茗溪会が主催する顕彰事業は、茗溪創基130周年を記念して始められた公益事業です。平成28年には第15回を迎えます。

顕彰対象は、地域社会にあって広く社会に貢献している青少年や一般社会人として。

今回も、顕彰候補者を広く全国的な視野から積極的に発掘し、下記の要領により推薦してください。

ただし、公益事業としての趣旨から、政治家、現職の公務員等は避けるほか、現在、本会の本部、地域組織等の役職に在る者は対象外とします。なお、本会会員であって役職にあるものでも、その社会貢献の実績が、社会的に評価されている場合は、候補の対象から除かないものとします。

平成24年度からは、従前の、筑波大学の芸術関係学生への顕彰に併せて、社会貢献を進めている大学院生で、大学当局から推薦された大学院生等も対象にしました。

また、社会的客観性を高めるために、当該地の教育委員会、新聞社（支局等を含む）、放送局あるいは関係団体、有識者、本会会員の提案、参考意見等を積極的に求めてください。

- (1) 顕彰対象 社会貢献活動者、芸術創造活動(作品)者等。
- (2) 推 薦 全国の代議員、地域組織等（代表者）、本部理事等から候補者を推薦する。推薦にあたっては、世代、地域、職域、あるいは学内にあっては芸術、スポーツ、また、社会貢献度、研究成果等を考慮する。
- (3) 選 考 一般の社会貢献者は、推薦された候補者の中から、選考委員会において顕彰対象者を選考する。選考委員会は、当該担当の副理事長を座長とし、理事会内に設けられている各委員会の委員長を内部委員とし、理事長が委嘱した有識者を外部委員として構成する。
なお、筑波大学生、大学院生に関しては、学内に設置された選考委員会の結果を尊重する。
- (4) 推薦締切 一般候補者の推薦締切は、平成28年9月末日、学内締切は、平成29年2月末日として、関係書類を事務局へ提出されたい。
- (5) 顕彰式等 (茗溪会賞) 一般顕彰者を本部に招いて、顕彰式、賀会を行い、大学院生関係者は学位授与式等に併せて行う。

また、顕彰者の推薦記録等を中心に記載した“顕彰録”を作成して、本部に長く保存するとともに、本人をはじめ国会図書館等の関係方面に贈呈する。

一方、顕彰受賞者の社会貢献活動の概要等を、季刊誌「茗溪」へ掲載して、広報・周知を図る。

2015年10月1日～2016年3月20日

逢沢	勝美	岩渕	房夫	勝又	宏	小林	宏	芝崎	茂夫	田中	幾美子	奈良	昭男	堀田	昭稔	八ッ田	利幸
相沢	利一	岩村	雅朗	加藤	章	小林	正貴	柴崎	敏	田中	富雄	仁尾	武博	増原	光彦	谷中	斉
阿江	通良	梅村	和伸	加藤	英勝	小俣	幸嗣	柴田	淳	田中	守	西	穰司	間瀬	和義	梁瀬	吉弘
青木	俊輔	江口	好晴	金井	敏明	小松崎	八寿子	志甫	英一	田中	禮三	西村	淳	町田	彰一郎	山神	眞一
青山	和義	榎本	喜美夫	金子	十美代	五味	正之	島谷	弘幸	田淵	英樹	西村	伸平	松下	昭彦	山岸	徳治
赤坂	収	大石	英幸	金子	信男	小宮	要	清水	俊幸	玉井	一章	根立	俊樹	松下	繁雄	山口	洋史
赤堀	正宜	大岡	久恵	兼田	昌尚	小山	和夫	下田	尚	千葉	泰博	野口	昌三	松本	正人	山口	松太郎
秋元	融	大勝	信明	神島	達郎	小山	恭輔	白崎	研司	帖佐	寛章	野村	良和	松元	美明	山下	富雄
浅井	康明	大木	都起子	河合	末治	小山	弘毅	榛葉	恒治	陳	謙臣	萩原	昌明	丸山	晃市	山田	一彰
浅野	克己	大島	弘	河合	学	齊藤	志貴雄	新原	佳弘	津田	房枝	花園	融	三浦	早江子	山田	正
浅野	義尋	太田	中	川田	孝一	齊藤	隆	杉山	浩一	土屋	衷	花光	幸和	水上	和夫	山田	みね子
浅見	高明	大滝	浩永	河鍋	鬻	佐伯	重幸	鈴木	秀明	土屋	道生	林	一六	水口	浩	山達	六夫
天野	正治	大谷	光昭	河又	恭一	坂倉	太郎	鈴木	弘文	筒井	豊祐	林	建生	水越	三郎	山本	章雄
新井	昭三	大塚	正修	川村	美弥子	坂田	信久	鈴木	泰全	都築	義之	林	利八	溝口	繁美	山本	岩夫
飯田	宗映	大塚	芳郎	川本	太郎	崎田	功	鈴木	美慧	角替	弘志	原	信夫	三田	浩司	山本	正三
飯田	仁	大槻	耕太郎	菊永	武行	佐久間	幾雄	鈴木	安孝	角田	匡巳	原	正	光田	惠一	吉川	正美
飯田	文吉	大原	律夫	北昭		笹川	和輝	鈴木	善弘	鶴卷	和男	原田	隆康	宮内	完吾	吉田	潤
伊井野	通保	大山	嵩	北沢	忠	佐々木	史郎	鈴木	祥史	鶴見	豊吉	原田	拓二	宮沢	武久	米田	吉孝
五十嵐	耕一	小笠原	悦郎	北島	瑞男	佐々木	徹悟	関口	莊次	手島	昇	原田	満彦	宮下	完二	和田	静恵
井口	裕夫	萩野	治雄	北村	滋敏	佐々木	敏恵	仙波	操	朽堀	申二	春成	幸男	宮下	弘子	渡辺	功
池川	敏幸	奥井	保正	榑部	淨義	佐々木	洋	大学	俊彦	富田	磨紗子	平賀	徹	宮嶋	孝也	渡辺	和男
池田	正一	奥田	繁雄	久原	建	佐々木	優子	高岡	正幸	富永	敏郎	廣川	雄一郎	宮田	新太郎	渡部	清二
池田	馨優	奥谷	多作	久保	隆行	佐藤	功	高木	哲也	富山	順治	廣橋	義敬	宮本	久吉	渡辺	隆明
石井	千昭	小椋	正	久保田	昌和	佐藤	悦郎	高瀬	宏樹	豊崎	永英	福井	守	三好	俊文	渡邊	浩之
石井	當己	小澤	治夫	熊井	保	佐藤	吏	高田	雅博	永井	純	藤井	茂男	武藤	直人	渡辺	満孝
石川	利一	押上	和喬	倉島	武徳	佐藤	和行	鷹野	誠三	中尾	俊雄	藤井	英嘉	村田	栄	(五十音順・ 敬称略	
石崎	弘美	落合	勇一	栗原	昇	佐藤	三郎	高野	だいわ	長尾	明敏	藤江	学	村田	茂		
石浜	義晴	落合	義治	桑原	洋	佐藤	伸一	高橋	審也	中莖	久男	藤谷	秀道	村田	幹雄		
石原	麻理恵	小内	稔	小畔	東	佐藤	千春	高橋	誠	永澤	正明	藤根	喜美子	村松	正夫		
石渡	和実	女屋	博昭	小池	生夫	真田	功	高橋	正博	中島	敏治	藤本	真道	最上	隆二		
市村	操一	小根山	延雄	小池	一郎	佐野	欣之介	田口	貢久	中田	英雄	藤本	昌男	森	英俊	(五十音順・ 敬称略	
市村	一司	小野	清子	合田	浩之	澤田	秀一	武井									

平成二十七年年度 新潟茗溪会活動報告

茗溪会新潟県支部は平成二十七年年度から名称を新潟茗溪会とリニューアルし、会員数約八百人にて新たにスタートを切りました。

本会では毎年、総会、研修会、教員採用試験受験希望者研修会を実施し、年二回会報を発行しています。

本年度の総会は七月四日(土)、サンルート新潟で本部監事古藤昭子氏をお迎えし、会員三十六名の参加のもと開催しました。

総会前の理事会・幹事会では、平成二十七年年度の活動内容の確認と役割分担が行われました。

総会は、冒頭の永井会長の挨拶で、茗溪会館の営業が再開されたことが報告されました。



議事では、平成二十六年年度事業報告、会計報告及び二十七年年度の役員体制と事業計画が審議されました。また、高校教員中心の活動から、様々な職種の方がより気軽に同窓会の活動に参加できるよう、時代にあった組織に変えていくための取り組みが提案されました。

講演では、国土交通省新潟国道事務所の土木技術者の今佐和子さんから新しい

新潟市の街作りや万代橋の歴史についてのお話、新潟日報カメラマンの加藤清也さんから撮影写真を見せていただき、報道カメラマンとしての仕事の内容などのお話をいただきました。

総会後の懇談会では牧野前会長の挨拶や参加者の近況報告があり、最後は「桐の葉」の大合唱でした。

研修会は、十月十四日(土)サンルート新潟で開催し、教職員研修、若手の体験発表、懇談会に十七名の参加がありました。

教員採用試験受験希望者研修会は、平成二十八年二月六日(土)に開催し、二名の受験希望者が参加しました。

会 長…永井成一(昭・四一・教大法政)
事務局…長田 裕(昭・五九・筑体)
本部代議員…永井成一 中島郁雄

北海道茗溪会活動報告

北海道茗溪会は、会長・副会長・監事・幹事長・幹事・顧問・事務局長を含めた役員を中心に企画を行い、事務局がその準備にあたり運営しております。活動内容としては、年二回の全体会(五月に総会・懇親会、一月に新年会)を開催し、会員相互の親睦と情報交換の機会としております。

また、隔年で「新年講演会」として新年会の際に、様々な分野でご活躍されている方の講演を会員だけではなく多くの方々にご案内し、開催しております。その他にも年一回「支部だより」を発行し、約三百名の会員に送付することで、北



海道茗溪会の活動状況や近況報告などをお知らせしています。

平成二十七年(平成二十八年一月九日)において、新年会に先立ち、新年講演会を札幌全日空ホテルで開催しました。

当日は、本部より西川潔副理事長をお迎えして四十名近い参加者のもと盛大に開催され、楽しく、また貴重な時間を過ごすことができました。



講演会では、北海道新聞社論説主幹・古川周三氏をお招きして、「今年の政局展望」と題しまして、ご講演いただきました。古川氏は筑波大学卒業後、記者、デスク、論説委員として長らく永田町で取材をされてきました。そのご経験をもとに、政界の動きや今後の政局について大変わかりやすくお話しをいただきました。

その後、新年会では西川潔副理事長よりご祝辞をいただき、藤井英嘉(昭三十五体育卒)先生の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。

途中、全国高等学校ラグビー選手権大会に出場する山内宜明先生(平五年筑波大体育卒)より全国大会に向けた決意表明がありました。会の終わりにには円陣を組み、「宣揚歌」と「エール」で、盛況のもと終了いたしました。北海道茗溪会としては、会員の減少と同時に、全体会の参加者の減少も今後の課題となっております。事務局としては、これからの北海道を盛り上げる若い方の参加を呼びかけ、広い地域である北海道のネットワークを繋げていきたいと考えております。

第31回 教職受験対策研修会から

教職を希望する筑波大学生に対して、本会と財団法人筑波学徒資金財団が主催する「教職受験対策研修会」が3月7日から9日までの三日間「筑波研修センター」で開催されました。参加者は59名でした。

【第一日】

*開講式

筑波大学キャリアセンター長の五十嵐浩也氏、筑波大学学生部就職課長の久保田優氏のご出席を賜り、田中正造筑波学都資金財団理事長（36東京教育大 健康）も加わって、励ましのお言葉や、いかに全国との教育関係者が筑波大学の卒業生に期待しているか等のお話を伺いました。

*講義Ⅰ

「教員採用試験の分析と対策」 大畑多津雄氏（52東京教育大 数学）Ⅱ現在、神奈川工科大学勤務 元神奈川県立高校教諭、元神奈川県立平塚江南高校長、元神奈川県教育局指導部長

「教員採用試験の分析と対応」と題して、1時間40分で、求められる教員像、教員採用試験の概要（公立学校）（私立学校） 教員採用試験の受験対策（筆記試験対策）（論文対策）（面接試験対策）（模擬授業・場面指導の対策）などについて、詳しくお話いただきました。



五十嵐浩也氏



久保田 優氏

「各都道府県教育界の諸先輩にお願ひ」

各都道府県の採用試験情報や教育行政の最新情報について先輩方を訪ねて教えていただくよう指導しております。論文の指導を含めてよろしくお願ひ致します。



①野田 知里さん



②岸野 友子さん



③松本 隆宏さん



④齋藤 琴音さん



⑤石毛恵太郎さん

*採用試験合格者の体験発表（今年度合格した先輩）

①名古屋市中 中学保健体育

②東京都 中学高校理科（生物）

③大分県 高校数学

④東京都 中学高校数学

⑤千葉県 高校数学

⑥東京都 中学高校国語

⑦千葉県 高校数学

⑧東京都 中学高校国語

⑨千葉県 高校数学

⑩東京都 中学高校国語

⑪千葉県 高校数学

⑫東京都 中学高校国語

⑬千葉県 高校数学

⑭東京都 中学高校国語

⑮千葉県 高校数学

⑯東京都 中学高校国語

⑰千葉県 高校数学

育庁勤務、前東京都立武蔵丘高校長

パワーポイントと補助資料を使って、学校改革について、100分間熱く語っていただきました。

*個人面接

前学生宿舎所長の高野大二郎氏（40東京教育大 体育、茨城県立高校教諭

元茨城県立藤代紫水高校長）及び現学生宿舎所

長の武井秀一氏（51東京

教育大 化学、元茨城県立高校教諭 元土浦第一高校長）と高野が面接官となり、体験発表の5人が加わり、受講生が個人面接の答え方等の練習を行いました。

*集団面接

受講生数人のグループに対して面接を実施しました。ここでも5人の体験発表者がアドバイスをしました。

*集団討論の実演

5人の体験発表者に、明日実施する「集団討論」の実演を行ってもらいました。

【第三日】

*集団討論

6〜7人で用意されたテーマについて、50分間ほどで討論しました。まず、各人が与えられたテーマについて意見を述べ、討論に入りました。ほとんどの参加者が初めての経験でしたが、討論が白熱し、参加者からは良い体験であったとの声が聞かれました。

*論文指導

初日に書いた論文を班ごとに分かれて、まず、本人が音読し、意図するところや考えを述べ、指導者がコメントをするという形式で実施しました。参加者からは「大変、役にたった」との声が多かった。

*閉講式

高野・武井氏の激励のお話で研修会を終了しました。茗溪会事務局 高原 将（38東京教育大 東洋史）

武井 秀一氏



高野大二郎氏



筑波大学はいま

金子雅紀選手が200メートル背泳ぎで短水路日本新記録を樹立！

1月17日に行われた東京都新春水泳協議会で、金子雅紀選手（人間総合科学研究所 体育学専攻 博士前期2年）が、男子200メートル背泳ぎで1分48秒25の短水路日本新記録を樹立しました。

181センチの大きな体から繰り出すパワフルなバサロキックが持ち味の金子選手。この大会では、100メートル背泳ぎ、400メートル個人メドレーと、出場した3種目全てで自己ベストを更新しました。昨年、日本、カタール、UAEで行われたFINAワールドカップでも、ドバイ大会（UAE）200メートル背泳ぎ銀メダルを含む6つのメダルを獲得しており、4月に行われるオリンピック選考会に向けて、順調に強化が進んでいます。



写真：Insidefoto/アフロ
(FINAワールドカップドバイ大会)

リュブリャナ大学学長一行とスロベニア共和国駐日大使および駐日ベラルーシ共和国特命全権大使一行が表敬訪問

2月4日に、スロベニア共和国リュブリャナ大学イヴァン・スヴェトリク学長およびシモナ・レスコヴァル駐日スロベニア大使らが、永田恭介学長、ベントン・キヤロライン・ファーン副学長（国際担当）を表敬訪問され、和やかに懇談されました。

表敬後、リュブリャナ大学から教員12人、本学から教員14人が参加し、両大学のさまざまな研究分野の紹介や、博士課程リーディングプログラムに在籍するスロベニアからの留学生によるエンパワーメント情報学プログラム

ラムについての紹介などが行われ、大学間交流協定を締結している同大学とのコラボレーションの実施に向けて意見交換を行いました。リュブリャナ大学とは、戦略的・包括的パートナーシップを形成し、今後、よりいっそうの人材育成および研究力推進向上を行います。

また、2月18日には、駐日ベラルーシ共和国ゼルゲイ・ラフマノフ特命全権大使が表敬訪問されました。懇談の席上、ラフマノフ大使から、本学のベラルーシ共和国に対する理解と協力に関して謝意が述べられるとともに、ベラルーシにおける教育や経済

等の取り組みに関して説明があり、今後の連携協力に対する期待が述べられました。



リュブリャナ大学学長一行とスロベニア共和国駐日大使との集合写真



駐日ベラルーシ共和国特命全権大使一行との集合写真

第1回なないろ駅伝大会開催

2月24日、陸上競技場にて、年齢や国籍、性別、宗教、障害の差を越えてタスキをつなぐ第1回なないろ駅伝を開催しました。

オリンピック・パラリンピックには、7つの「価値」（卓越、友情、敬意／尊重、決断、勇気、平等、鼓舞）があります。同大



会は、これらの価値を世界中全ての人に伝え、後世につないでいくため、7つの価値を7色で表現した、7色対抗の駅伝を企画したものです。

当日、小学生の部では、春日学園4年生198名が男女各2組の計4組に分かれ、7色のTシャツを着て1kmを競走し、7色対抗で総合順位を競いました。続くリレーマラソンの部では、春日学園7年生125名、外務省より招待されたブラジル人トップランナー、本学陸上部の長距離選手、アダプティブアスリート、本学一般学生・教職員、一般市民ランナー9〜10人が1チームとなり、計21チーム（1色3チーム×7色）が90分間で走った「距離」を競いました。また、小学生アクティビティの部では、さまざまな教育プログラムも実施され、7色に込められた「価値」を楽しく学びました。

孔子像復元研究成果公開

3月5日〜21日、湯島聖堂大成殿において芸術系の研究グループによる、孔子像復元研究の成果が一般公開されました。約2年をかけて行われた、関東大震災で焼失した湯島聖堂本尊孔子像に関する調査・考証および、それに基づいた孔子像の復元制作の最終報告としての公開展示です。

会場には、江戸期の画軸などを原型に、新たに彩色復元制作された等身大の孔子袁冕倚像（こんべんいぞう）の乾漆像を中心に、現在、湯島聖堂に祀られているブロンズ製の孔子像と同じ型で制作された乾漆像に、造像当時に施されていたと考えられる彩色を試みた座像、さらに、復元にあたって彩色の図柄等をシミュレーションした3次元コンピュータグラフィックス、復元研究の過程等を紹介するパネルが展示されました。

訪れた人々は、長い時間と多くの研究者の手を経て現代によみがえった孔子像を興味深く鑑賞していました。



茗溪学園だより

「六送会」―弾む歌声

卒業式の前日、大学受験を終えて久しぶりに登校してきた6年生（卒業生）を迎えて、「六送会」が催されます。「六年生を送る会」が正式名称で、中学1年から高校2年（5年生）まで、各学年2曲ずつの学年合唱をメインにして、有志による演奏やパフォーマンス、教員による劇、卒業生の6年間の振り返る映像などで構成されています。本校では、合唱が大切にされてきました。創立当初から「二人そろえばハーモニー」という合言葉のもと、学年あるいは学級を単位とした合唱の機会を、数多く設けてきました。中学1年生が入学間もない文化祭（6月実施）で披露するのも学年合唱です。中学1、2年生には学級単位での合唱コンクール（2月実施）という行事もあります。本校の生徒達には、学校生活の中に、ごく普通に合唱があり、日常的な存在となっています。

この「六送会」は、実行委員会が立ち上げられ、生徒たちの自主的な活動として運営され、歴史を重ねてきました。体育館にス



高校1年の合唱：レ・ミゼラブルより「民衆の歌」、フランス人の留学生が旗を振っている。この学年は4月の入学式でも新入生の歓迎演奏を行う。

ステージを作ったり、そのための備品の移動も含め、数多くの準備活動、当日の活動を綿密な計画書を作成して、見事なまでに仕切っています。今年もまた、卒業生にも、在校生にも教職員にも、楽しく感動的なイベントとしてくれました。翌日の卒業式は、この日とは打って

変わって、厳かな雰囲気の中で、卒業生一人一人に証書が校長から手渡されます。祭りとして楽しむ場と厳肅な式、この両日の過ごし方にも、生徒達が学校生活の中で成長している証が窺えます。卒業式の後に行われる卒業パーティのエンディングでは、自分たちが歌ってきた合唱曲が校歌とともに、涙ながらに歌われます。茗溪生活の締めくくりも合唱となっています。

石巻絆プロジェクト

東日本大震災の被災地、石巻市の中学校へ楽器（ティンパニ）をプレゼントしたご縁から、石巻市を中心とした地域で、復旧復興の様子を見学し、継続的に調査活動をして、少しでも復興に向けた活動に役立つことができなかと、生徒たちが有志を募ってプロジェクトが始まりました。そしてこの2月に、5回目の訪問活動が行われました。今回の活動には26名の生徒が参加しました。

このプロジェクトは、事前学習活動と、現地での調査や交流活動、発表会などでの発信活動で構成されています。事前学習では、これまでの4回の訪問で蓄積された内容を、新規のメンバーで確認し、4つの調査研究班を編成して、それぞれが被災地の現状や課題を整理して、次の改善策を打ち出すために意見交換を行いました。過

去の活動では、復旧活動に関わる諸問題を専門家の方に講義していただいたり、実際にボランティア活動をしている方からお話を伺ったりすることもありました。

今回の現地での訪問先は、仮設商店街、仮設住宅、病院、水産業者、ボランティア団体など14の施設となりました。お祭りの準備のお手伝いや小学生との交流、漁師さんへのインタビューなど、現地の方々の生の声に触れられるような活動となっています。5年間の変化を感じつつ、まだ先は長いことを実感してきました。そして、これらの現地訪問で学んだことをもとに、発信活動として市内の小学校などで報告会をさせていただいています。他にも機会をいただければ、積極的に校内や校外でポスター発表をしています。



石巻市のお祭り広場にて

部活動など結果報告

- ◎**高校ラグビー部**：①第95回全国大会結果：初戦で関西学院高校（兵庫代表）に敗退、開会式で本校主将が選手宣誓 ②第17回全国選抜大会・2年ぶりの出場（9回目、関東予選4位通過、4月・熊谷市） ③高校日本代表（1名）として、スコットランド遠征参加
- ◎**高校剣道部（男）**：県新人大会優勝し全国選抜大会初出場（3月末・愛知県春日井市）
- ◎**中学テニス部**：第2回全国私立中学テニス大会（12月末・神戸）結果：男子団体5位、女子団体15位、個人女子単4位とベスト8入賞
- ◎**高校バドミントン部**：関東選抜大会（12月末・小田原市）結果：団体男子初戦惜敗、個人男子複ベスト8
- ◎**中学バドミントン部**：茨城県選抜選手として男女各1名関東中学生大会（12月末・久喜市）出場。結果：男子7位、女子6位
- ◎**フェンシング**：中学3年女子、シンガポール・カデ・フェンシング・ワールドカップ2016に日本代表として派遣され、女子フルーレ団体ベスト8、個人24位
- ◎**美術部**：第60回全日本学生美術展：団体・奨励賞（27年連続）、推奨3名、特選3名、佳作18名。部員以外の美術授業作品：特選1名、佳作4名。
- ◎**書道部**：高校3年女子、読売新聞主催全国書初めコンクール「入選」（入選者は全国で19名）。茨城新聞学生紙上展で、茨城県教育長賞（高1）、茨城書道美術振興会理事長賞（中1）、優秀賞7名、その他多数受賞。
- ◎**声楽**：中学3年女子、第25回日本クラシック音楽コンクール声楽部門中学女子の部、全国大会まで進み5位入賞

【第5回茨城県高校生科学研究発表会】

最優秀ポスター賞（県知事賞）1名、奨励賞3名

◆平成27年度東茗会例会

と き 平成27年11月14日(土)
ところ 池袋西口「北海道」にて

東茗会は東京高等師範学校、東京文理科大学、東京教育大学、筑波大学で東洋史を専攻し、都内の学校に勤務する教員とOBの親睦会です。ここ数年、筑波大学出身の出席者が東京教育大学出身者を上回るようになりました。それでも毎年11月に開かれる例会では、世代を越えていつも学生時代の昔話や勤務校の話題で楽しく盛り上がっています。 会長 浦部利明 (56筑一人文 58筑修教)



◆東京教育大学アーチェリー部OB会 忘年会

と き 平成27年12月17日(木)
ところ 聘珍樓横浜本店

恒例の忘年会を横浜中華街で12時から行った。今回は中華料理ではなく、薬膳料理を味わった。高柳先輩が用事で途中退席されたが、近況報告などしながら楽しく過ごした。参加者9名。



◆「茗数会」(静岡県) 総会

と き 平成27年11月28日(土)午後4時30分～午後7時30分
ところ マイホテル 竜宮

静岡県では、茗溪の会員で、高等学校の数学の教員で「茗数会」を組織して、すでに50年を超えています。会員は現在84人で、毎年、11月の最終か12月の初旬に総会を開催しています。この日の総会には19人の会員が参加して、近況報告や数学の話題など、年代を越えて有意義な時間を過ごすことができました。 文責 高田道雄



◆「桐の葉の会」卒業50年の集い 昭和40年卒数学科クラス会

と き 平成27年4月12日(日)
ところ ホテル第一イン池袋

10年ぶりにクラス会を開催しました。参加者は15名で遠方からは、弘前の小関道夫さん、富山市の広瀬悦子さんに出席いただきました。広瀬さんは別の用事で早退されたため集合写真に参加できず残念でした。

卒業以来初めてという人もいましたが昔話に花が咲き楽しいひと時でした。

写真は、

後列左から松井、森川、町田、塚田、小関、小高、岡田、江川

前列左から春原、峯村、渡邊、入手(松浦)、平山、水谷

世話役: 松井泰一、渡邊義正 文: 渡邊義正



◆東京教育大学心理学科昭和37年入学「コギトの会」

と き 平成27年11月8日(日)
ところ 新宿区信濃町 鮎處 八千代

クラス会の名前は、在学中に発刊していた文集「cogito」に由来するものです。それを主宰していた本宮さんによるとクラス会を始めたきっかけは、メンバーの「みんなに会いたい」の声からだそうです。今年で19回目、今まで2年に1回の開催を、昨年からは毎年開こうということになりました。来年は茗溪会館の予定です。

写真: 大木英三 記: 鈴木義子



「桐の葉のつどい」の掲載について

以下の要領で写真と原稿をお寄せ下さい。

(写真) フィルムカメラ、デジタルカメラのいずれかで撮影したものでも結構です。紙焼きでも、デジタルカメラの場合はデータをメールでお寄せいただいても結構です。

(文章) グループの名称、お集まりになった「とき」「ところ」を別項にして、必ずお書き下さい。会の模様を紹介する文章は31字×5行以内でお願い致します。

追 悼 録 (敬称略)

千原 眞夫 15体丙 27・12・9 長男 千原 達郎
 〒683-0005 米子市中島354-5
 出頭 富衛 18文二 27・11・26 長女 出頭 裕子
 〒300-0054 土浦市西真鍋町4-30
 福田 弘茂 19理一 26・12・20 妻 福田八重子
 〒156-0045 世田谷区桜上水1-6-9
 林 健造 19芸 28・2・12 次女 平川美紀子
 〒230-0031 横浜市鶴見区平安町1-60-2-107
 室田 正晴 20体二 26・8・22 長女 三宅 紀子
 〒850-0003 長崎市片淵1-4-20
 山川 修吉 20臨生 26・7・28 妻 山川ひさ子
 〒518-0854 伊賀市上野忍町2476
 大野 勝寛 21大数 28・2・12 妻 大野さつや
 〒247-0061 鎌倉市台1680-8
 鈴木 庸 22文一 27・11・20 長男 鈴木 史規
 〒243-0013 厚木市泉町9-13
 古川 恵章 22文五 28・1・8 妻 古川 通子
 〒943-0816 上越市藤新田2-3-18
 富田 太 22大国 27・12・8 長女 富田 順子
 〒442-0854 豊川市国府町茶ノ休37
 杉山 利恵 22臨数 28・1・14 長男 杉山 弘政
 〒331-0065 さいたま市西区ニッ宮573
 高根沢富男 22農教 27・12・29 長男 高根沢 繁
 〒321-3622 芳賀郡茂木町北高岡247
 庄山 一夫 22農教 26・12・28 子 庄山 敏
 〒515-2604 津市白山町岡103
 谷口 新 22農教 27・9・9 長女 小長光茂子
 〒300-0841 土浦市中187-113
 真篠 将 23大教 26・9・24 長男 真篠 幸雄
 〒157-0066 世田谷区成城7-29-8
 押手 敬 23大地鉦 27・1・19 長女 浜井 秀子
 〒444-0806 岡崎市緑丘2-20-12
 岡安 志朗 23文一 28・1・22 妻 岡安 道子
 〒365-0038 鴻巣市本町3-4-12
 遠山 正雄 23理一 28・2・13 長男 遠山 正彦
 〒338-0012 さいたま市中央区大戸4-14-14
 太田 昭 23農教 28・2・21 妻 太田しげ子
 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田6-8-78
 塚田 信男 24文一 28・1・16 長女 塚田 尚子
 〒300-0051 土浦市真鍋3-12-10
 飯田 昌己 24文二 28・1・16 長女 柳沼 邦子
 〒328-0051 栃木市柳橋町13-8
 長野 保 24理一 27・9・10 妻 長野 佳子
 〒277-0033 柏市増尾2-9-3
 山田 哲夫 24理一 27・10・16 長男 山田 浩史
 〒630-0243 生駒市俣口町1450-53
 大島 晴夫 24理一 27・11・18 妻 大島 憲子
 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-23-20
 新堂 庄二 24理四 28・1・27 妻 新堂 清美
 〒540-0013 大阪市中央区久宝寺町2-1-8-2803
 矢ヶ崎孝雄 25大地 27・10・28 長男 矢ヶ崎典隆
 〒192-0916 八王子市みなみ野5-3-3
 小野佐千夫 26大教 27・11・21 妻 小野 文子
 〒106-0046 港区元麻布2-10-2-302
 新井 稔 26理一 26・12・20 三男 新井 聡
 〒174-0064 板橋区中台2-8-8
 小池 昭彦 26理三 27・11・2 妻 小池 勝子
 〒336-0926 さいたま市緑区東浦和7-18-12
 本間 慎司 26体 27・12・29 妻 本間 純子
 〒239-0827 横須賀市久里浜台2-13-7
 大島 弘 26体専 27・6・29 妻 大島 房子
 〒329-4411 下都賀郡大平町横堀707
 石山 洋 26文図養成所 28・1・16 妻 石山 常子
 〒158-0086 世田谷区尾山台2-6-18

逝去会員氏名・卒年科・逝去年月日・ 遺族住所・氏名

倉林 三郎 27大地鉦 27・12・3 長男 倉林 純
 〒983-0825 仙台市宮城野区鶴ヶ谷北1-4-7
 齊藤 彰男 27文二 27・7・14 妻 齊藤 怜子
 〒350-0021 川越市大中居62
 田中 謙爾 27理二 27・12・10 妻 田中美保子
 〒143-0016 大田区大森北6-23-12
 中莖 久男 27芸 27・1・16 妻 中莖 紀代
 〒114-0014 北区田端1-12-20
 根本 和成 28大植 27・12・16 妻 根本 充子
 〒161-0033 新宿区下落合4-4-21
 田部 稔 28教大英 27・11・19 妻 田部 直
 〒178-0061 練馬区大泉学園町6-31-3
 西野 正彌 28教大物 28・1・22 妻 西野 靖子
 〒187-0034 小平市栄町3-4-11
 古山 洋一 28教大物 27・9・7 長女 古山 邦子
 〒391-0011 茅野市玉川5891-9
 蓬田 達夫 29教大教 27・6・23 長男 蓬田 敏正
 〒039-1102 八戸市一番町1-6-4
 岡村 三郎 29教大地鉦 27・5・8 妻 岡村 照子
 〒178-0065 練馬区西大泉2-23-13
 丹羽 長政 30教大哲 27・1・20 妻 丹羽美穂子
 〒332-0012 川口市本町1-2-17
 平林 盛得 30教大日史 27・11・8 妻 平林 千恵
 〒143-0023 大田区山王1-10-9
 市川 直明 30教大経 27・8・31 妻 市川 絢子
 〒259-0145 足柄上郡中井町田中918-15
 大澤 正治 31教大植 28・1・6 妻 大澤千鶴子
 〒337-0002 さいたま市見沼区春野1-5-6-103
 山田 廉 32教大倫 27・11・29 妻 山田 迪子
 〒680-0824 鳥取市行徳3-543
 浅岡 清範 32教大農 27・10・12 妻 浅岡 秀子
 〒182-0012 調布市深大寺東町6-26-1
 森永 欣一 32教大体 27・12・18 妻 森永 益枝
 〒201-0013 狛江市元和泉2-23-1
 梶原 端之 33教大農化 27・10・4 妻 梶原喜久子
 〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1-19-1-302
 溝上 脩 34院修教 27・12・18 妻 溝上 亮子
 〒840-0023 佐賀市本庄町袋127-5
 川村 和夫 34教大英 27・11・27 妻 川村太枝子
 〒239-0833 横須賀市ハイランド5-25-5
 芳沢 要 34教大林 27・12・10 妻 芳沢 久代
 〒818-0025 筑紫野市筑紫705-6
 山本 家永 34教大林 27・8・9 妻 山本 裕
 〒399-7502 東筑摩郡筑北村東条2089-1
 佐藤 大澄 34教大農経 27・10・9 妻 佐藤 敦子
 〒235-0019 横浜市磯子区磯子台20-11
 青島 松司 35教大農工 27・11・18 妻 青島 久子
 〒349-0205 南埼玉郡白岡町西10-7-13
 三井 巖 36教大林 26・5・20 妻 三井 文子
 〒329-1417 さくら市フィオーレ喜連川4-2-9
 山田 和彦 41教大国 28・1・10 長男 山田 真幸
 〒418-0074 富士宮市源道寺町776
 長谷川光邦 44教大数 27・9・11 妻 長谷川まつ子
 〒186-0003 国立市富士見台4-37-7
 佐々田みほ子 44図短図書館 27・12・9 弟 佐々田 保
 〒352-0034 新座市野寺5-7-18-202
 都澤 凡夫 45教大健 27・1・10 長男 都澤 啓明
 〒305-0844 つくば市小白碓671-48
 萩原 奏 47教大体 27・10・15 妻 萩原かつ子
 〒276-0046 八千代市大和田新田659-7
 木村 益己 56筑一自 27・10・14 妻 木村 雅子
 〒300-4517 筑西市海老ヶ島1637

日本名詩選1・2・3(全3巻)

著者…西原大輔(平成元年第二学群比較文化学類卒)
本の大きさ…A5版 各248・232・274ページ 1,600円+税
出版社…笠間書院

かつて新潮文庫には、東京教育大学で教鞭をとった吉田精一の『日本近代詩鑑賞』3冊が入っていた。島崎藤村、北原白秋、高村光太郎、三好達治といった詩人の作品を、質の高い解説で読むことができた。ところが、著作権の厳格化や詩の読者の減少などで、日本の近現代詩の鑑賞本は、長い間書店の店頭から姿を消していた。

2015年に刊行した『日本名詩選』3冊は、明治・大正・昭和3代の有名な詩22篇に注釈と鑑賞をつけた本。吉田精一の名著に強い憧れを持ちつつ、8年間かけて書き上げた。学校で国語を担当している教員の方には、是非授業の準備のための参考書として使って欲しいという思いがある。

若い頃にはよく詩を読んだのに、気づけば詩歌から遠ざかっている人も多い。一方、現代詩は難解なものが多く、誰の何を読めばいいのか、見当もつかない。『日本名詩選』に収録した22篇は、すべて質の高い著名な作品ばかり。かならずや、魅力ある詩との新たな出会いを経験できるに違いない。

思想家としての石橋湛山―人と時代

著者…山口 正(昭和33教大文学部哲学専攻)

本の大きさ…A4版410頁 300円+税

出版社…春風社

政治家石橋湛山は、大正・昭和期に東洋経済新報社の経営、ジャーナリストとして一貫して「小日本主義」や自由主義的立場を主張、敗戦後、46年第一次吉田内閣の蔵相となり、インフレ政策を推進したが、GHQによる公職追放を受け、解除後56年自由民主党総裁に選任され組閣したが、病に倒れ3カ月の短命内閣に終わった。しかし経済、政治の研究者や知識人達の戦後歴代首相の中で、石橋の評価は今も高く、多くの研究書も発刊されている。

著者山口氏は、東教大で科学哲学を専攻し、東洋経済新報社に入社、出版局長、監査役、「石橋湛山著作全集」「東洋経済新報社百年史」室長を務めた。石橋湛山について最も精通した著者により、「思想家石橋湛山」として業績の根源となる哲学を注視し、永年に発表してきた諸論文26編を中心に編纂された好著である。今日の政争に明け暮れる貧困な政治状況にも一石を投じる本書を、会員の皆様に推薦する次第である。

入手方法 書店申込、アマゾン、楽天など

紹介者 小宮山恵三郎(昭32教大文学部哲学専攻・元茨城大学人文学部教授)



Service Safety Sincerity
あなたのそばに。セキショウグループ。

SEKISHO
Energy for your Life

当社は「一般財団法人 関彰育英会」を通して、筑波大学大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正 樹 (学校法人 茗溪学園理事)

つくば本部／茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

茗溪会担当：上席執行役員 人事部 岡本 俊一
(昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<http://www.sekisho.co.jp/>



安全に、快適に、正確に

大曾根タクシー株式会社

取締役社長 塚本 一也

(平成3年環境科学研究科修了)

- ☆24時間営業
- ☆お迎え料金無料
- ☆カード利用OK!
- ☆貸切バス事業者より

安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑3丁目19-4

TEL 029-864-0301

FAX 029-864-4727

メールアドレス <http://www.taxi.e-tsukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302

各営業所に通じます

広報

代議員選挙の結果

平成28・29年度の一般社団法人茗溪会の代議員選挙の公示を季刊誌「茗溪」1087号で行い、平成27年11月6日に立候補の締切り、11月25日が地方組織から本部への提出期限で実施しましたところ、定員10名の候補者が出揃いました。平成27年12月21日に第2回目の選挙管理委員会が開催され、候補者10名を無投票当選とし、次の代議員が確定しました。

平成28・29年度の代議員の名簿を本号の14ページに掲載します。

定時総会開催のご案内

一般社団法人茗溪会の平成28年度（第5回）定時総会を平成28年5月26日（木）午後1時30分から、茗溪会館2階「茗溪」の間で開催致します。議題は平成27年度事業報告・決算報告、平成28年度事業計画（案）予算（案）及び役員選出等です。

「筑波大学新聞」4月号を同封します

ここ3年間お届けしております「筑波大学新聞」4月号を今年も同封致します。4月号には筑波大学への新入生の情報が掲載されており、会員の皆様から好評をいただいております。その他、筑波大学の様子も詳しく掲載されておりますので、ご活用ください。

茗溪会から筑波大学支援の助成金を贈呈

本会では筑波大学の学生への助成金を贈呈しておりますが、最近では、茗溪会賞（芸術部門）と卒業式に対して助成金を贈呈しました。

平成28年度茗溪会人事について

平成28年4月1日現在

理事長	江田 昌佑
副理事長（財務経営担当）	井口 武雄
副理事長（同窓会・大学対応担当）	西川 潔
常務理事	高野 力
事務局	
大塚事務所	室岡 和彦（所長） 岩田 敏昭
	和泉 千代 前田 三郎（非常勤）
筑波事務所	清水 進一（非常勤） 高原 将（嘱託）
	立山 雅博（所長） 大森 哲郎（非常勤）
	野崎 芳恵（非常勤）

卒業予定学生の就職活動にご支援を

来春卒業予定の筑波大学生のために、諸先輩のご指導ご支援をお願い致します。

「問い合わせ・連絡先」筑波大学学生部就職課
企業・団体関係 電話 029-853-6001
教員・公務員関係 電話 029-853-2249

表紙の言葉 デザイン 茗溪会副理事長 西川 潔

今回紹介するのは天久保池とそのほとりの桜である。つくばの桜は入学式のころ満開となることが多く、新入生歓迎会を兼ねた花見にはもってこいの場所である。その時期だけこは学生でにぎわう。池は体育と芸術のある西地区の南に位置し、平砂や追越宿舎の学生の殆どが登下校時にペデ（ペDEST）アンデッキ、高架になっている歩道橋の一種）から目にする光景である。人工の調整池だが、40年余を経て、すっかり土地に馴染んでいる。近年は共通体育の野外系授業の一貫としてカヌーの練習にも用いられていると聞いた。私の子供が小さかった頃、一緒に小魚をとっていたら20センチを超えるブルーギルが網に入ってきて驚いたのもこの池である。

編集後記

・特集の「筑波大学附属諸学校を巡る」は第3回として「附属駒場中・高等学校」から原稿をいただき掲載致しました。たいへん多くの写真をいただきましたので一部をグラビアに移して、カラーでご覧いただきます。次号は「附属坂戸高校」と「視覚支援学校」です。
・平成28年2月6日に開催された「茗溪会に関する有識者懇談の会」、平成28年2月14日に開催された「東京都教育研究懇談会（木三会）」の報告を関係者にまとめていただきましたので、掲載致します。
また、平成27年6月17日以来毎月第三水曜日に開催されており、平成28年3月16日で第9回となった「茗溪・筑波大学産業人会」に原稿をお願いし、2ページの原稿をいただきましたので掲載いたします。

お願い

・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡下さい。
・年会費のお振込みは、早めをお願いいたします。

平成28年4月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

TEL 03-3941-0133

FAX 03-3941-7674

Email info@meikei.or.jp

URL http://www.meikei.or.jp

郵便振替記号番号 00150-24977

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台1-1-1

筑波大学・大会会館内

TEL 029-850-0044

FAX 029-850-0045

Email tsu3inu@meikei.or.jp

印刷 東京都文京区関口1-39-10

山浦印刷株式会社

予告

公開講座

(1) 東京地区

(その1)

テーマ… 知っておきたい日本発の英語の本
講師… 藤原保明先生
日時… 平成28年6月25日(土)
場所… 茗溪会館

(その2)

テーマ… 調整中
講師… 守屋正彦先生他
日時… 平成28年8月または9月
場所… 茗溪会館

(2) 筑波地区

(その1)

テーマ… 花のある暮らしとエピソード
講師… 西川綾子先生
日時… 平成28年7月18日(月)
場所… 筑波研修センター

(その2)

テーマ… 未定(英語シリーズ第14回)
講師… 藤原保明先生
日時… 平成28年9月24日(土)
場所… 筑波研修センター

顕彰式

日時… 平成28年11月26日(土)
場所… 筑波大学 大学会館

追悼のつづき

日時… 平成28年9月3日(土)
場所… 茗溪会館



株式会社 阿部兄弟建築事務所

http://abeoffice.co.jp



〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル

代表取締役 荒井 豊人 (昭和57年 建築士)

TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120



経営・労務・年金etc. コンサルタント

福岡経営労務事務所

〒125-0042 葛飾区金町3-27-3

TEL 03(3607)0551 FAX 03(3607)0551

所長 福岡 一雄 (32教大法政)
社会保険労務士



株式会社 十和観光

代表取締役 井坂 信洋

URL: http://www.juwa.com E-mail: travel@juwa.com
〒300-2451 茨城県つくばみらい市箕輪254
TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1220

聖徳大学 大学院

〒271-8555 千葉県県戸市岩瀬55

電話 047-365-1111(代表)

E-mail: akifuji@seitoku.ac.jp

言語文化 藤原 保明 (昭48教修英)
研究科長 研究科長 (平3筑博文言)

スポーツ&起業家&企業人「つくばウェイ」

TSUKUBA WAY プロジェクト

～茗溪・筑波OB・OGの活躍を集約!!～

http://tsukubaway.com/

株式会社 KTAJ

代表取締役 藤田 文武 (体育専門学郡
2004年卒)



永井建設株式会社

〒273-0115 千葉県鎌ケ谷市東道野辺3-1-7

電話 047(443)7908 FAX 047(443)7940

営業部長 高野 力 (昭48教大木工)

印刷・製本までトータルに対応

株式会社 ケエスアイ

東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-1
東京フジビル502号室

TEL 03-5357-1668 FAX 03-5357-1669



株式会社 長谷工 コーポレーション

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号

電話 03(3456)1578

常務執行役員 植岡 祥之 (昭57筑社工)

つくばでの宿泊・研修にー

ご家族で、お仲間で

最大収容180名、お一人3,700円から
茗溪会員とご家族に割引あり

研修セミナー・サークル発表会・各種会議・学習合宿・部活動合宿に
シングル145室ツイン5室和室5室／研修室2室(120・40名)
和室も研修室として利用可(20畳、10畳)
館内食堂《こうせい》でパーティ・懇親会等(数名から80名まで)

アクセス

秋葉原駅からつくばエクスプレスで45分「つくば駅」下車
●バス「筑波大学循環」3つ目「筑波メディカルセンター前」下車
徒歩8分●つくば駅からタクシー／5分

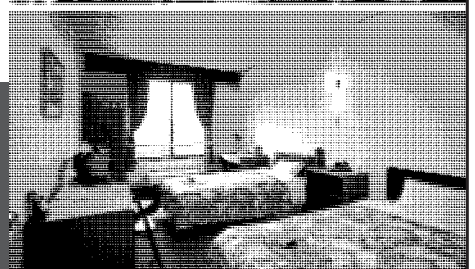
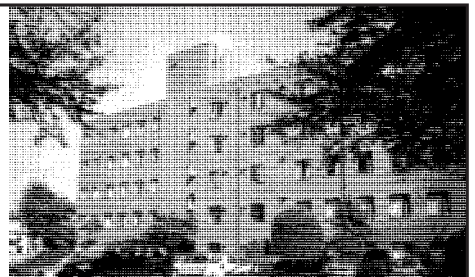
一般財団法人筑波学都資金財団

筑波研修センター

〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5

TEL 029-851-5152 / FAX 029-851-8886

http://www.meikei.or.jp/~center e-mail: center@meikei.or.jp





TRADITIONAL WEDDING



KANOBI
MEIKEIKAN



若溪会員及び筑波大学関係者の皆様
～ご優待特典のご案内～

✂ ご婚礼…費用総額の5%引き
その他、期間限定プランなど季節に応じた特典も
多数ご用意しております

✂ お食事…飲食合計の10%引き
ご家族様、ご親族様もご利用いただけます

これから始まる新たな未来のなかで
おふたりにとっていつでも戻ってこられる
そんな場所でありたいと願っております

一生に一度の結婚式

長い歴史を持つこの場所に 新たな歴史が刻まれる

1日1組貸切

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-5-23

TEL : 03-5319-1888

<http://www.kanobi-meikeikan.com/>

独身男性、必読です。

結婚への黄金ルート

ご婚約カップルが直接書き込むメッセージは、
結婚への価値ある情報です。

ご婚約・ご結婚カップル・ご両親の真実の言葉。
ホームページ(2015年8月、35周年を記念し一新)の
“実績”にアクセス、信頼性を確認できます。

ご婚約

検索

キュービッドは慶應義塾大学OB会の親睦パーティから発足して35年。結婚を誠実にお考えの方限定の会員制クラブです。

■お問い合わせはお電話でもどうぞ。

0120-0333-82

■入会資格

結婚を誠実にお考えの独身の方

●男性 25～45歳、定職におつきの方。●女性 20～40歳

※入会に際して審査があります。



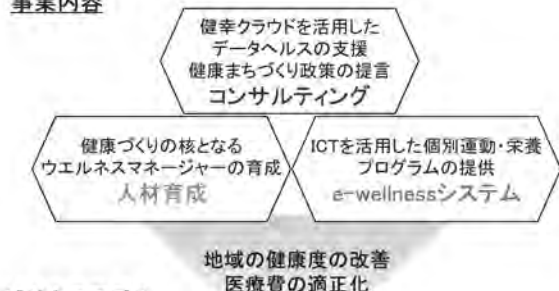
one by one サービスの会員制クラブ

Cupid Club

〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-11ヒューリック銀座数寄屋橋ビル7F 03-5524-3555 公式ホームページ www.cupid.co.jp

TWR
つくばウェルネスリサーチ
「日本全国を元気にする！」
超高齢化社会に伴う健康課題に対して、
筑波大学の研究成果に基づく健康サービスを提供しています。

事業内容



ビジネスモデル



株式会社つくばウェルネスリサーチ <http://www.twr.jp/>
〒277-8519 千葉県柏市若柴178番地4 KOIL505
Tel: 04-7197-2360 Fax: 04-7197-2361

■採用情報：新卒・中途採用など様々な人材を求めています！詳細はHPをご覧ください



桜美林大学
J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群
グローバル・コミュニケーション学群 (2016 年開設)

桜美林学園 理事長・学園長 佐藤 東洋士
学長 三谷 高康
入試事務室相談役 川田 孝一 (昭 39 教大総農)

【お問合せ先】

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758
桜美林大学インフォメーションセンター
Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



東京ビジネスホテル 茗溪会東京宿泊所

茗溪会会員割引料金 (税サ込)

シングルB (バス・トイレ共同)
¥ 6,500→平日¥ 4,800 休前日¥ 5,800

シングルA (バス・トイレ付)
¥ 8,200→平日¥ 6,200 休前日¥ 7,200

ツイン (バス・トイレ付)
¥13,800→平日¥ 9,800 休前日¥12,800

朝食バイキング ¥ 1,050→¥ 760

大浴場時間 : 6:30~9:00 17:00~01:00



東京都新宿区新宿6-3-2
TEL 03 (3356) 4605
FAX 03 (3356) 4606

地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅 1 番出口
都営新宿線 新宿三丁目駅 C7 出口
地下鉄副都心線 新宿三丁目駅 E2 出口
JR新宿駅より車 5 分
} より徒歩 7 分



Living Together

共生をテーマに、
人と環境の理想的な未来を

◆新菱冷熱
www.shinryo.com

Meikei-
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

- ◆寮のある学校です
- ◆Study Skillsを評価し伸ばす学校です
- ◆海外大学進学も選択肢にできます
- ◆部活動が盛んな文武両道の学校です



平成28年度公開行事

- 5月 7日(土) オープン・キャンパス
6月11日(土)・12日(日)
桐創祭(文化祭)
6月25日(土) 帰国生説明会
7月 9日(土) 高校受験生対象
学園説明会



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp(見学等) entry@meikei.ac.jp(入試等)